



東証プライム市場 6143



**2022年12月期  
決算説明会  
株式会社ソディック**

2023年2月17日



## 2022年12月期業績

<b>連結</b> 業績	<b>円安押し上げ効果で売上増加も、コストかさみ営業利益減少</b> 売上高： <b>804億円</b> 前年同期比 <b>+7.1%</b> 営業利益： <b>58億円</b> 前年同期比 <b>△14.7%</b>
<b>工作機械</b> 事業	<b>半導体・電子部品向け堅調継続も、中華圏での販売減少</b> 売上高： <b>564億円</b> 前年同期比 <b>+9.7%</b> セグメント利益： <b>70億円</b> 前年同期比 <b>△1.8%</b>
<b>産業機械</b> 事業	<b>自動車向け継続し、増収増益</b> 売上高： <b>106億円</b> 前年同期比 <b>+2.8%</b> セグメント利益： <b>8億円</b> 前年同期比 <b>+63.0%</b>
<b>食品機械</b> 事業	<b>米飯装置案件が進捗</b> 売上高： <b>68億円</b> 前年同期比 <b>△1.0%</b> セグメント利益： <b>4億円</b> 前年同期比 <b>△46.1%</b>
<b>その他</b> 事業	<b>サプライチェーン混乱の影響あり</b> 売上高： <b>65億円</b> 前年同期比 <b>+1.5%</b> セグメント利益： <b>3億円</b> 前年同期比 <b>△61.4%</b>

※ セグメント利益の調整額 △ 28億円

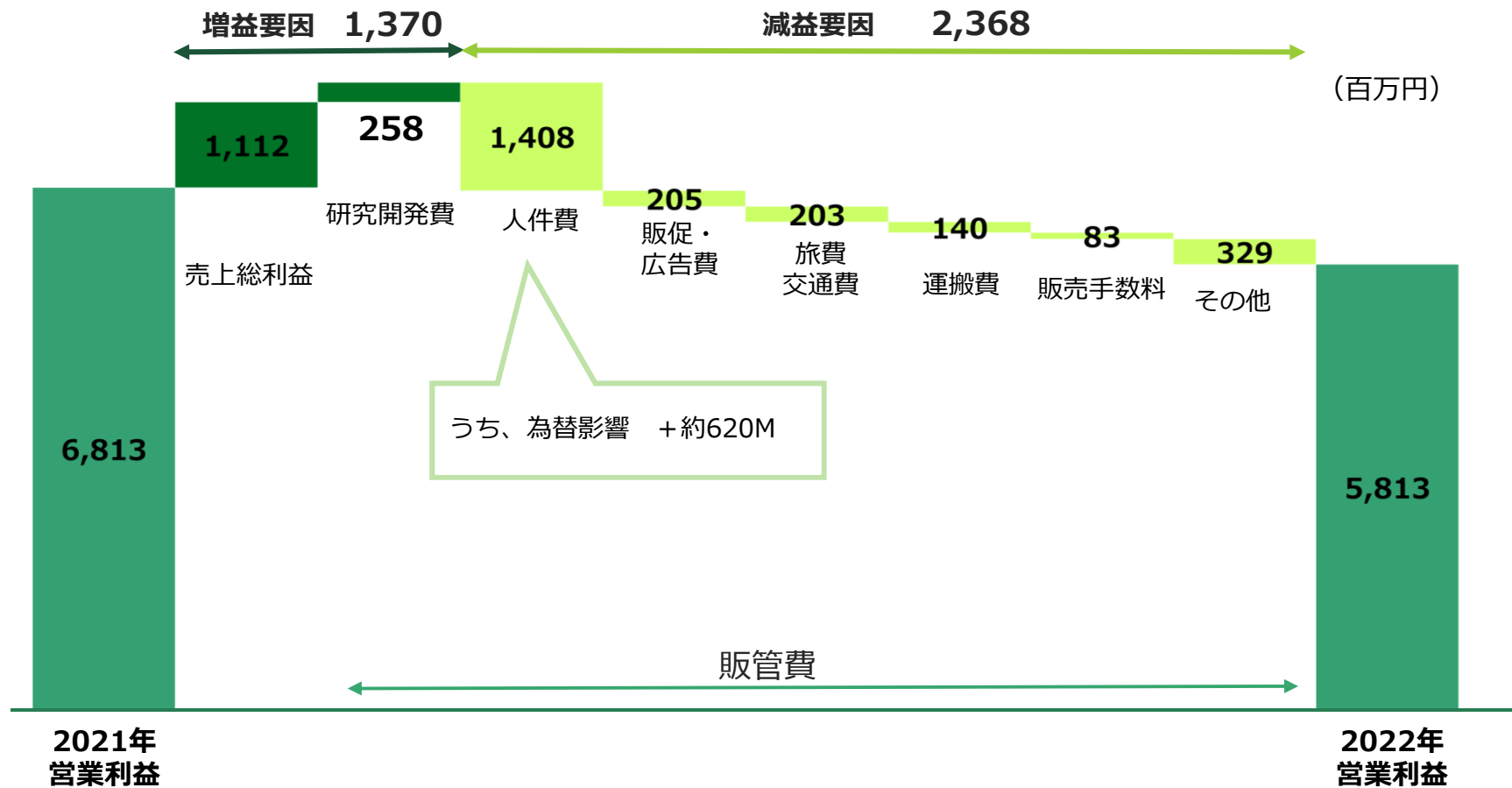
## 決算概要（2022年12月期）

- ✓ 中華圏での工作機械及び射出成形機の販売台数が減少したものの、円安による押し上げ効果で売上高は前期比増加（円安に伴う影響額+約57億円）
- ✓ 原材料・エネルギー価格の高騰、人件費の増加等により営業利益減少
- ✓ 急激な円安進行に伴い為替差益を計上したため、経常利益は82億円（為替差益：約16億円）

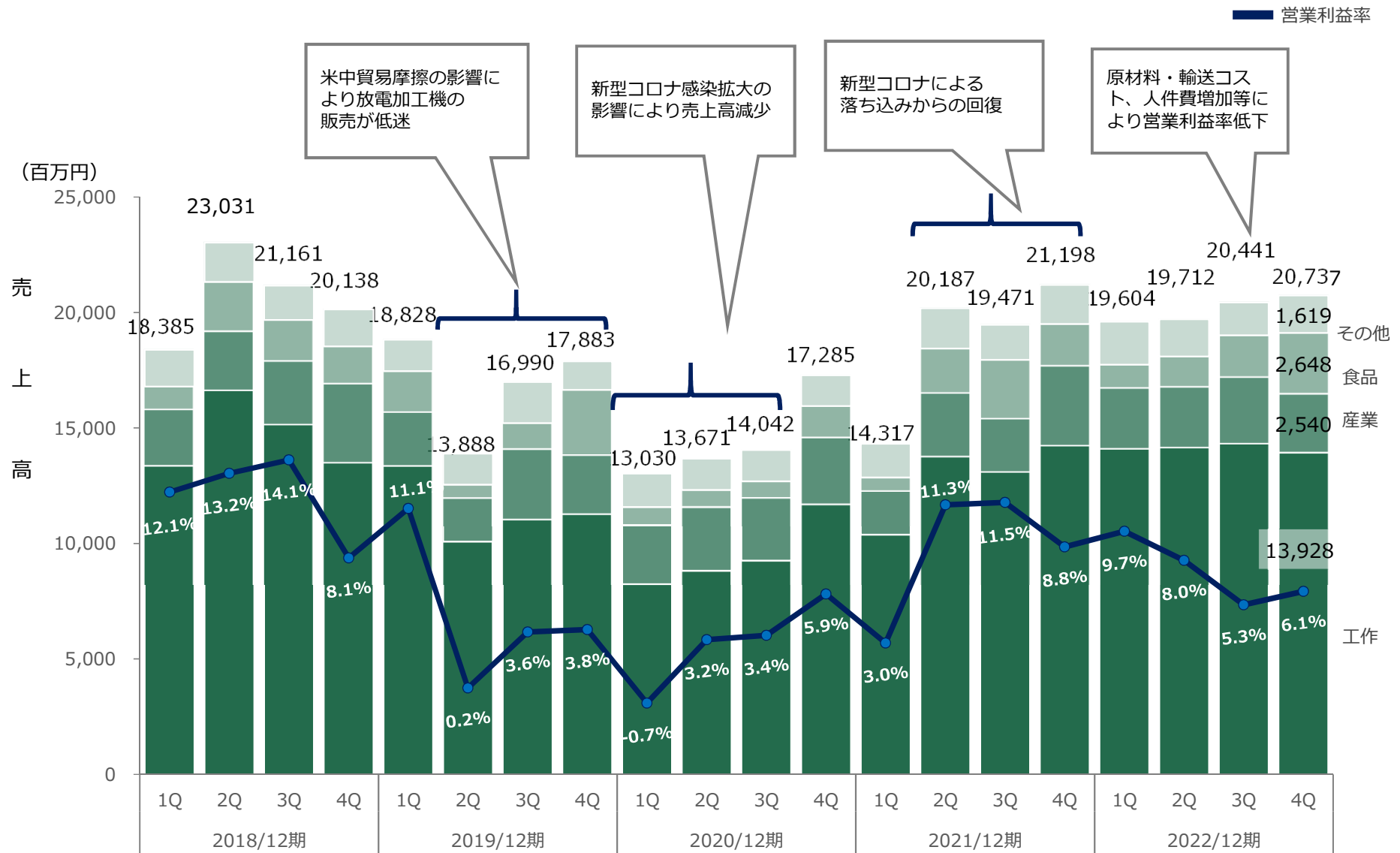
（単位：百万円）	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	前年対比
売上高	82,716	67,591	58,030	75,174	<b>80,495</b>	7.1%
営業利益	9,888	3,422	1,852	6,813	<b>5,813</b>	△14.7%
営業利益率	12.0%	5.1%	3.2%	9.1%	<b>7.2%</b>	△1.8pt
経常利益	9,619	3,558	2,046	8,588	<b>8,275</b>	△3.6%
当期利益	6,462	2,002	1,346	6,591	<b>6,021</b>	△8.6%
ROE	11.4%	3.4%	2.3%	10.0%	<b>7.8%</b>	△2.2pt
設備投資額	8,576	6,561	2,448	3,451	<b>4,681</b>	35.7%
減価償却費	3,085	3,664	3,399	3,452	<b>3,602</b>	4.3%
研究開発費	3,902	3,483	3,220	3,216	<b>3,168</b>	△1.5%
USD/JPY	110.44	109.03	106.76	109.90	<b>131.62</b>	21.72安
EUR/JPY	130.35	122.03	121.88	129.91	<b>138.14</b>	8.23安
CNH/JPY	16.71	15.77	15.48	17.01	<b>19.45</b>	2.44安
THB/JPY	3.42	3.52	3.42	3.44	<b>3.75</b>	0.31安

# 営業利益増減要因

- ✓ 戦略的人的投資の拡大に伴う採用増加・給与改定等により人件費が大幅に増加したほか、販促費や旅費等も増加となり、営業利益は前年同期比約10億円減少



# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）



※1Q：1-3月、2Q：4-6月、3Q：7-9月、4Q：10-12月

# セグメント別業績

(単位：百万円)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	前年対比
工作機械事業	58,607	45,797	38,024	51,485	<b>56,492</b>	9.7%
産業機械事業	11,155	9,773	10,931	10,367	<b>10,656</b>	2.8%
食品機械事業	6,560	6,283	3,585	6,884	<b>6,813</b>	△1.0%
その他事業	6,392	5,737	5,488	6,437	<b>6,533</b>	1.5%
売上高 計	82,716	67,591	58,030	75,174	<b>80,495</b>	7.1%
工作機械事業	9,988	4,621	2,896	7,176	<b>7,046</b>	△1.8%
産業機械事業	802	165	596	503	<b>820</b>	63.0%
食品機械事業	674	625	65	830	<b>447</b>	△46.1%
その他事業	1,030	311	319	811	<b>313</b>	△61.4%
セグメント利益 計	12,496	5,723	3,878	9,321	<b>8,628</b>	△7.4%
調整額	△ 2,607	△ 2,301	△ 2,025	△ 2,507	△ <b>2,814</b>	—
営業利益 合計	9,888	3,422	1,852	6,813	<b>5,813</b>	△14.7%

# セグメント別業績



## ■ 工作機械事業

売上高

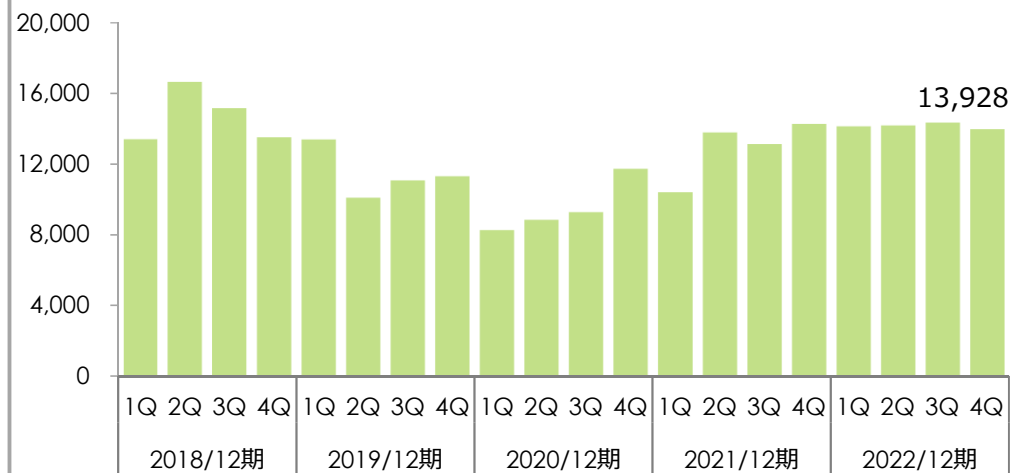
- ・ 日本、欧米、アジアで電子部品、半導体、EV関連堅調
- ・ 中華圏は自動車、半導体関連の設備投資意欲低下
- ・ 為替円安進行の影響もあり、売上高は前年同期比で増加

利益

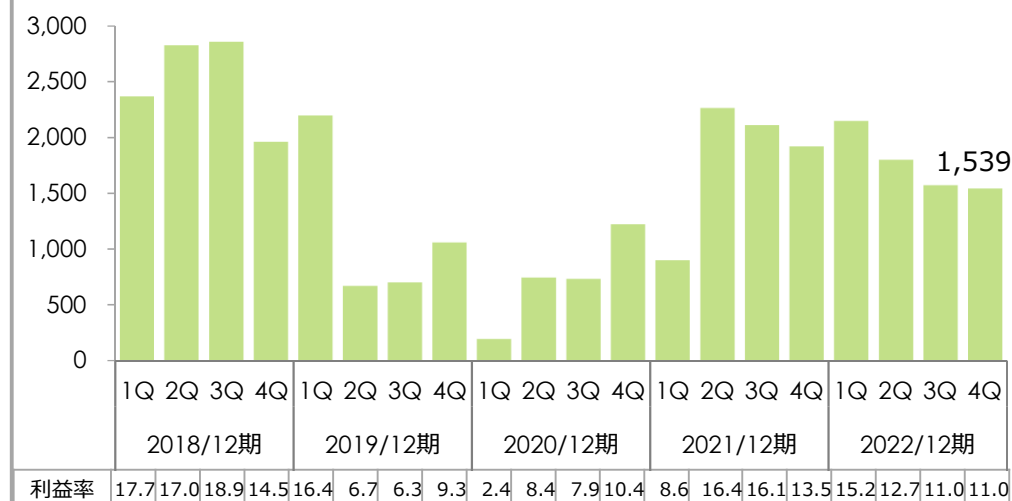
部材価格の高騰、サプライチェーンの混乱、人件費の増加等のコスト上昇により利益率は低下

単位:百万円	2021年	2022年	前年対比	
売上高	51,485	<b>56,492</b>	5,006	9.7%
セグメント利益	7,176	<b>7,046</b>	△ 129	△1.8%
利益率	13.9%	12.5%		

売上高（四半期推移）



セグメント利益（四半期推移）





# セグメント別業績



## ■産業機械事業

売上高

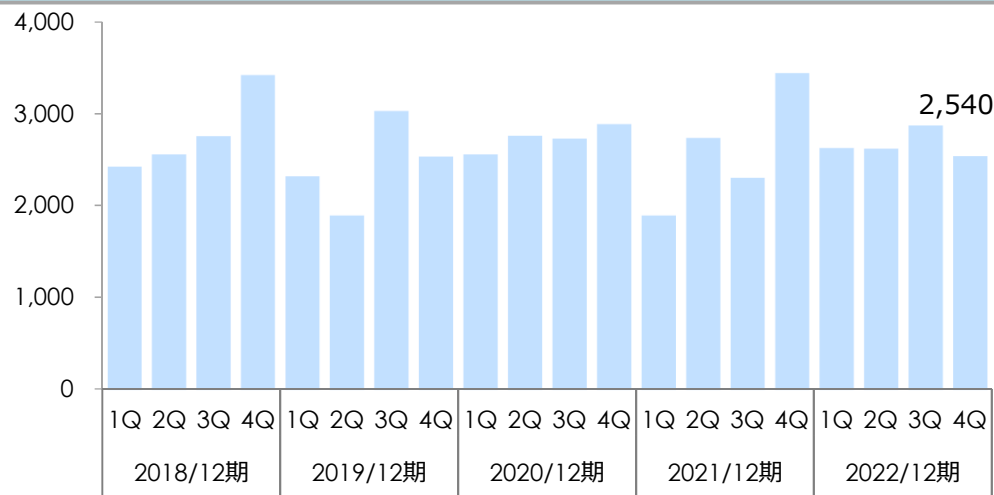
- ・国内はEV関連向けが堅調
- ・各地域の電子部品関連向けは低調
- ・為替円安進行の影響もあり、売上高は前年同期比で増加

利益

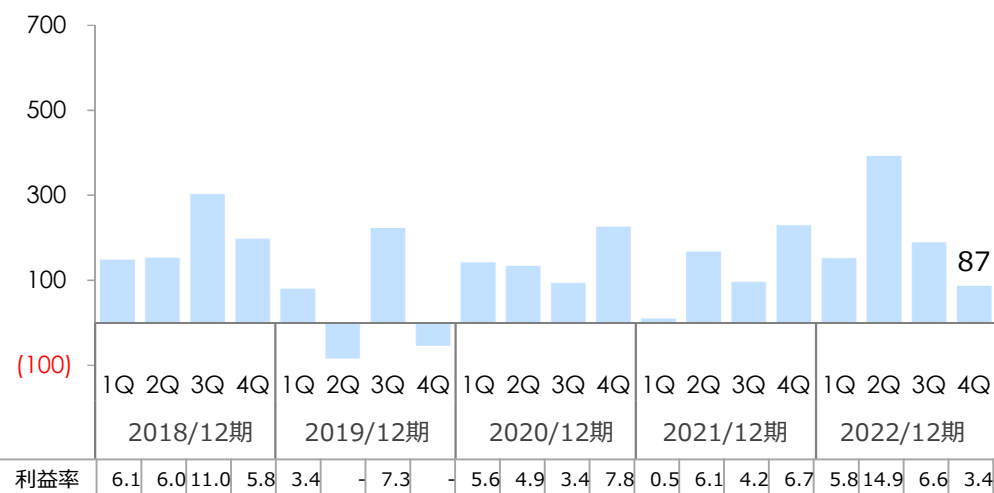
第2四半期に一時的に高付加価値製品の販売が増加したこともあり、セグメント利益は前期比で増加

単位:百万円	2021年	2022年	前年対比	
売上高	10,367	<b>10,656</b>	288	2.8%
セグメント利益	503	<b>820</b>	317	63.0%
利益率	4.9%	7.7%		

売上高（四半期推移）



セグメント利益（四半期推移）



# セグメント別業績



## ■食品機械事業

売上高

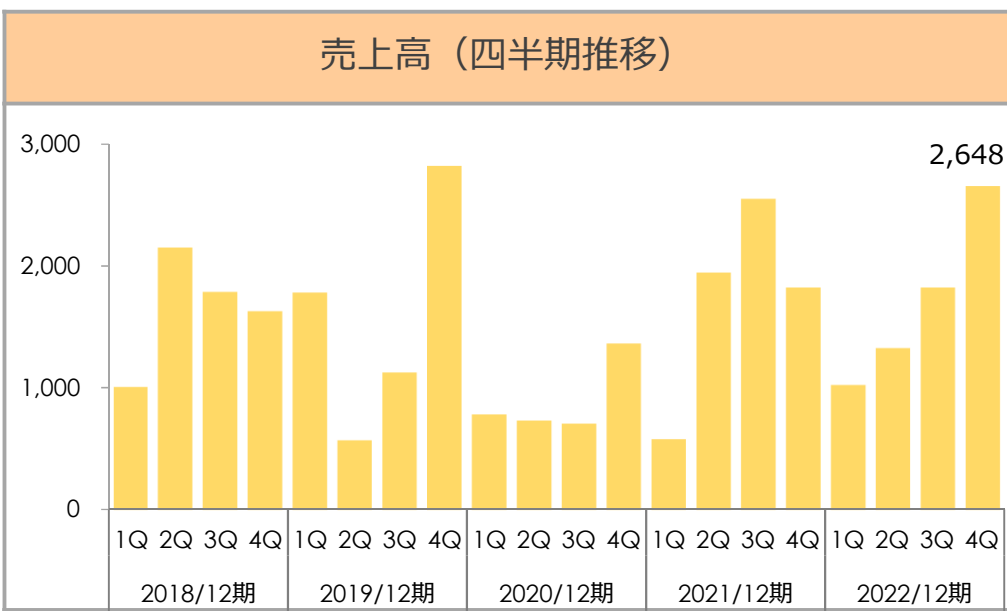
・日本での製麺機関連設備、海外向けの無菌包装米飯製造装置需要は堅調  
 ・中華圏での新型コロナの行動制限や世界的なインフレによる原価上昇に伴い設備投資意欲は低下するも、無菌包装米飯装置の複数案件が進捗し、売上高は前年同期比で微減にとどまる

利益

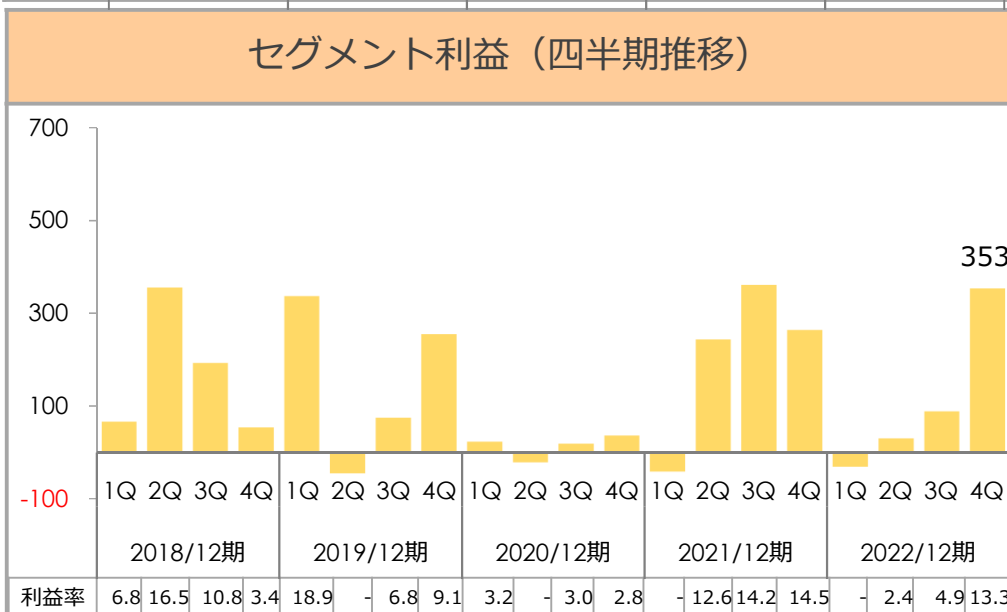
原材料の高騰の影響や、一部案件での追加コストの発生もあり、前年同期比で大幅に減少

単位:百万円	2021年	2022年	前年対比
売上高	6,884	<b>6,813</b>	△ 70 △1.0%
セグメント利益	830	<b>447</b>	△ 383 △46.1%
利益率	12.1%	6.6%	

売上高 (四半期推移)



セグメント利益 (四半期推移)



利益率	6.8	16.5	10.8	3.4	18.9	-	6.8	9.1	3.2	-	3.0	2.8	-	12.6	14.2	14.5	-	2.4	4.9	13.3
-----	-----	------	------	-----	------	---	-----	-----	-----	---	-----	-----	---	------	------	------	---	-----	-----	------

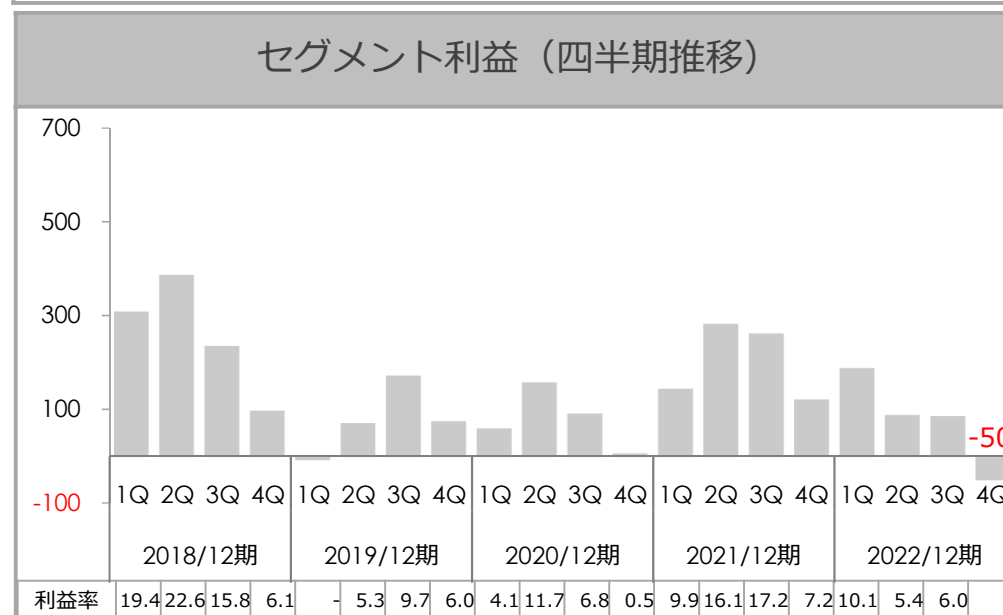
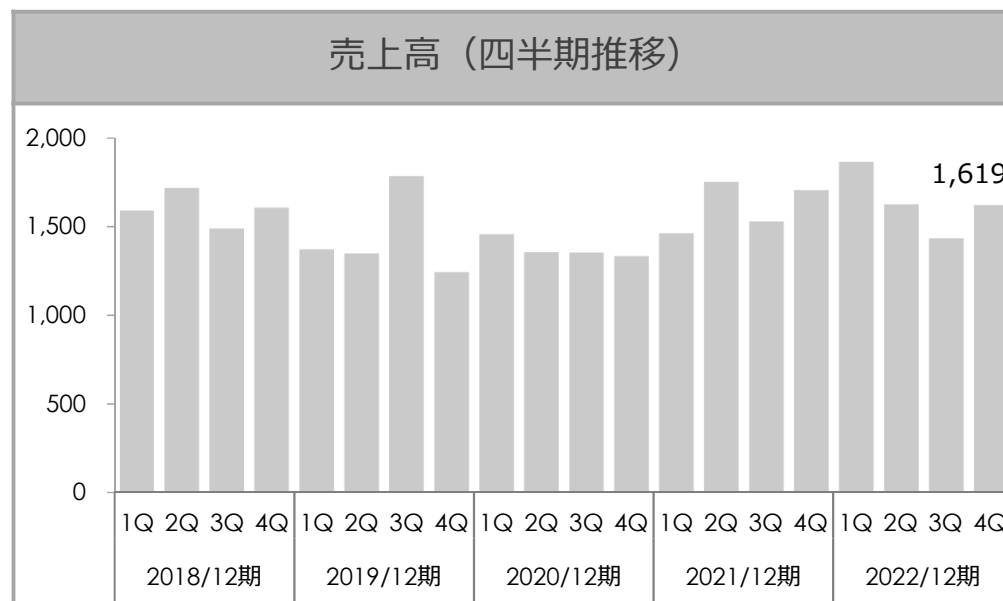
# セグメント別業績



## ■ その他事業

売上高	金型成形事業はサプライチェーン混乱の影響もあり売上高は前年同期比微減。 半導体製造装置メーカー向けのセラミックスの需要は継続
利益	原材料高騰の影響により、利益率は大幅に低下

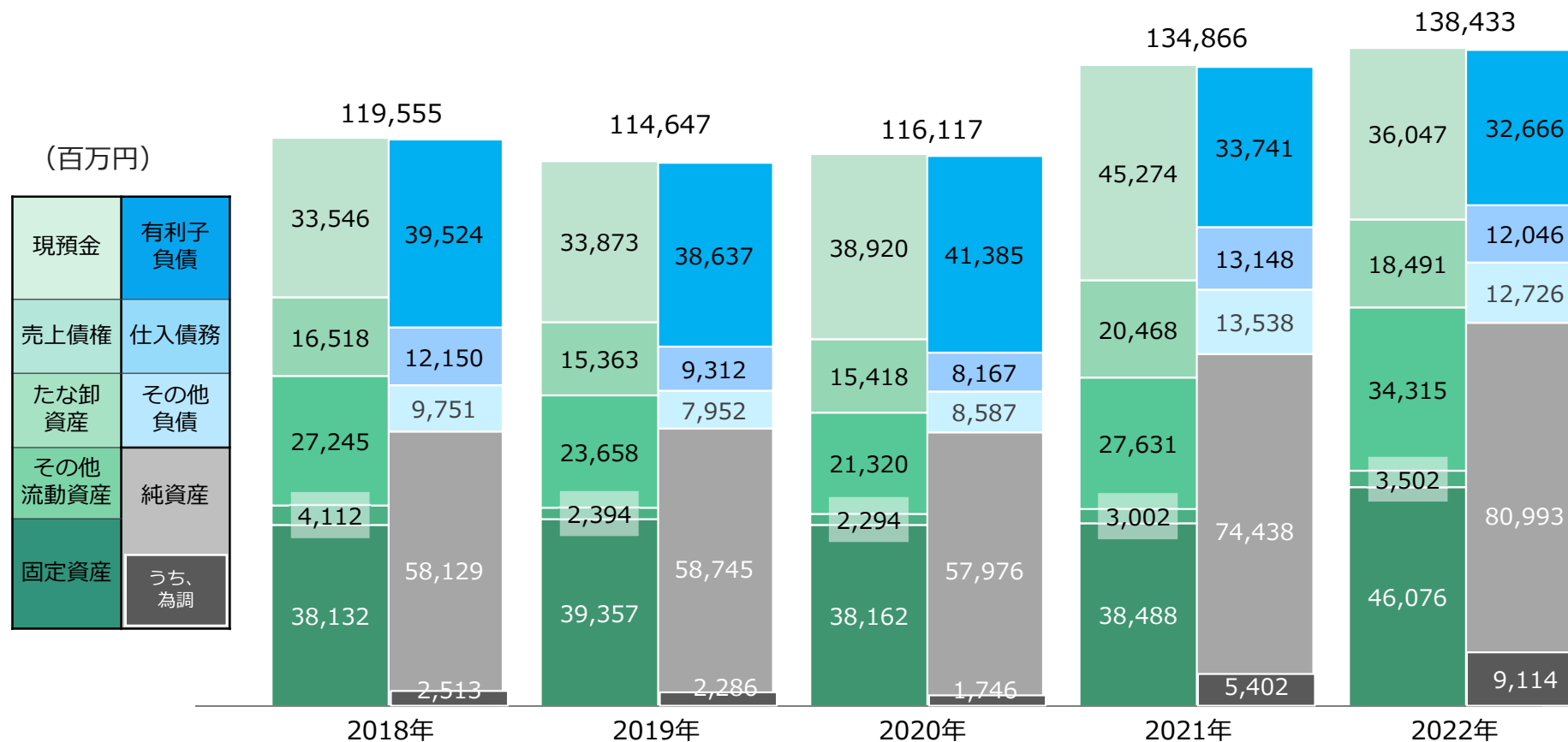
単位:百万円	2021年	2022年	前年対比	
売上高	6,437	<b>6,533</b>	96	1.5%
セグメント利益	811	<b>313</b>	△ 498	△ 61.4%
利益率	12.6%	4.8%		



利益率	19.4	22.6	15.8	6.1	-	5.3	9.7	6.0	4.1	11.7	6.8	0.5	9.9	16.1	17.2	7.2	10.1	5.4	6.0	-
-----	------	------	------	-----	---	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	------	------	-----	------	-----	-----	---

# 貸借対照表

- ✓ 子会社において現預金を固定資産（満期まで1年超の定期預金）へ振り替えたため現預金が減少
- ✓ 円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加（約37億円）により純資産が増加し、自己資本比率も改善

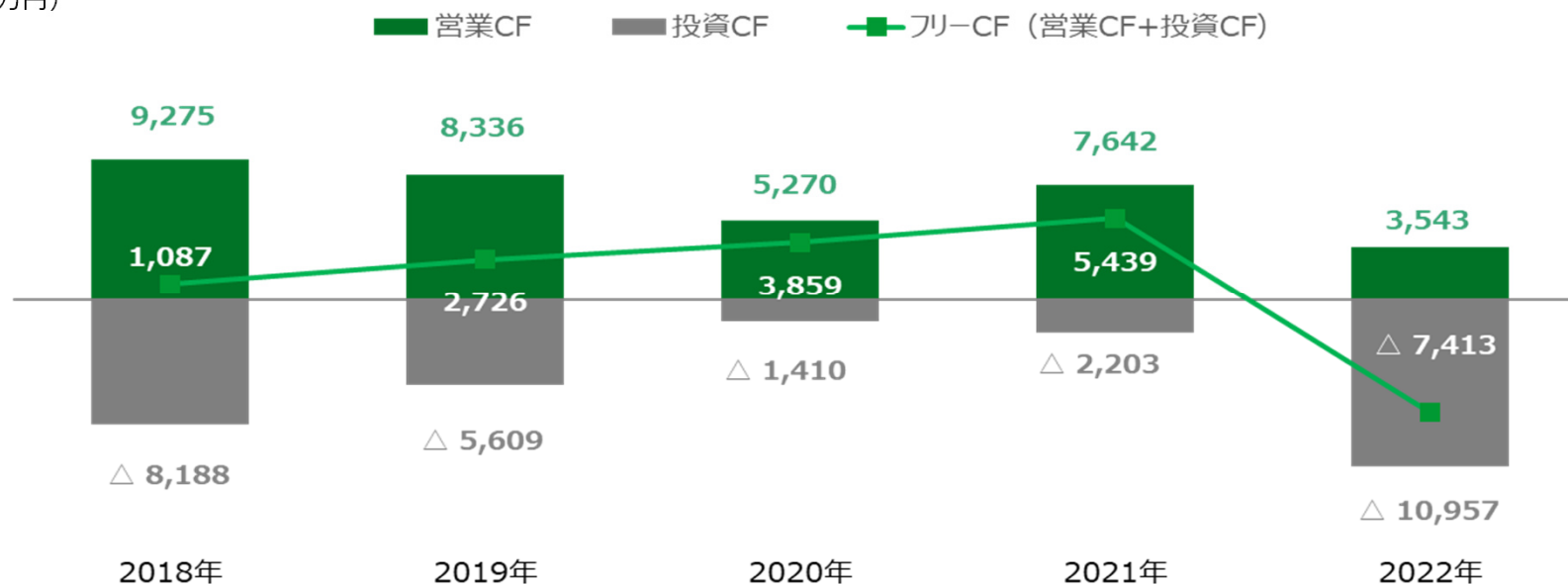


期末日レート USD/JPY	111.00	109.56	103.50	115.02	132.70
自己資本比率	48.5%	51.2%	49.9%	55.2%	58.5%
D/Eレシオ (倍)	0.72	0.69	0.74	0.49	0.46

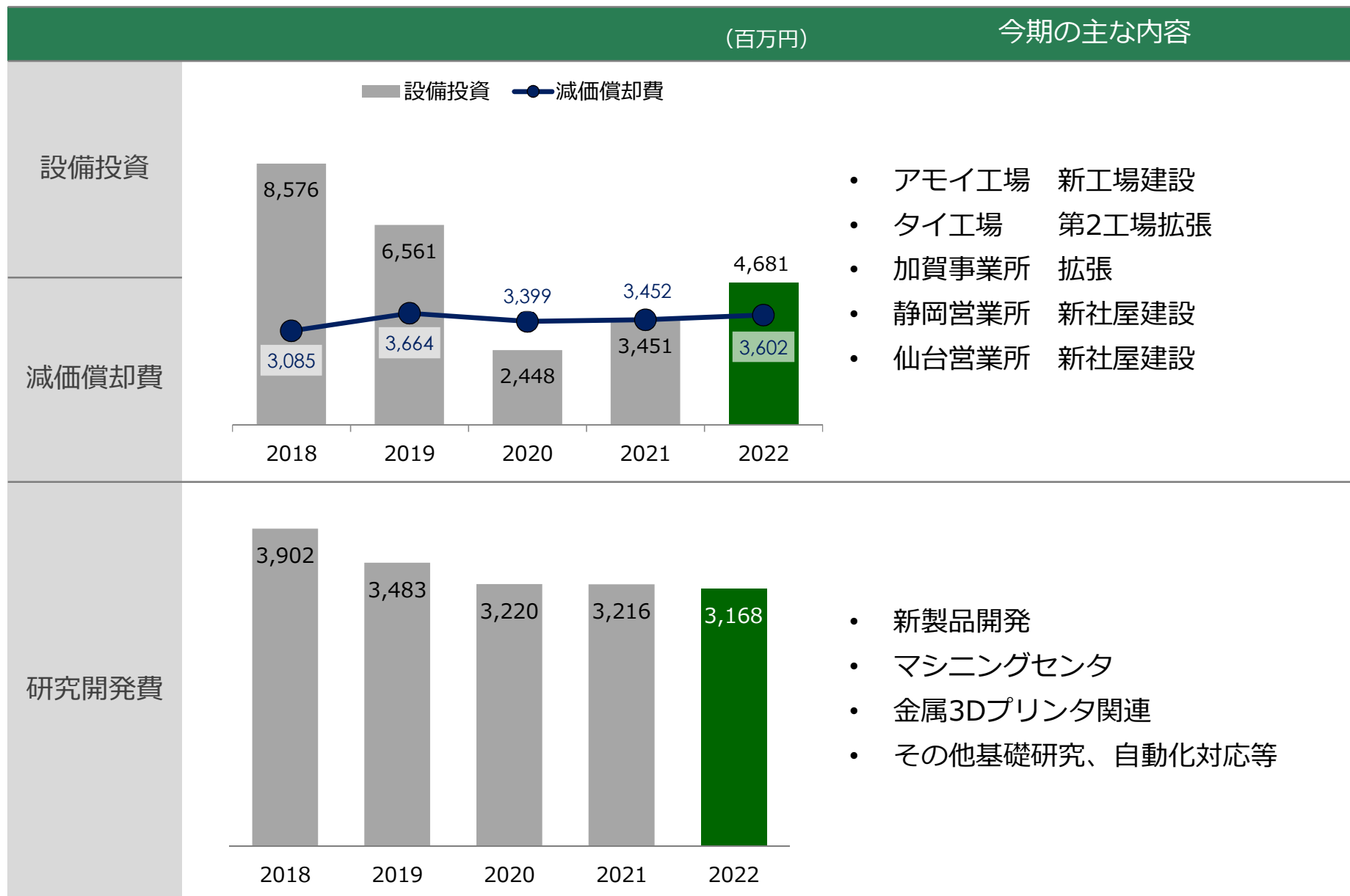
# キャッシュ・フロー

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	主な内訳
営業活動によるCF	9,275	8,336	5,270	7,642	3,543	契約負債増加 +32億円 前受金減少 △46億円 棚卸資産増加 △51億円
投資活動によるCF	△8,188	△5,609	△1,410	△2,203	△10,957	定期預金の預入による支出 △68億円 有形固定資産の取得 △35億円
財務活動によるCF	△3,485	△2,228	1,665	△1,932	△6,012	借入金の減少 △24億円 自己株式の取得 △14億円 配当金支払額 △14億円
現金・現金同等物期末残高	32,650	32,890	38,255	44,229	33,158	

(百万円)



# 設備投資 減価償却費 研究開発費

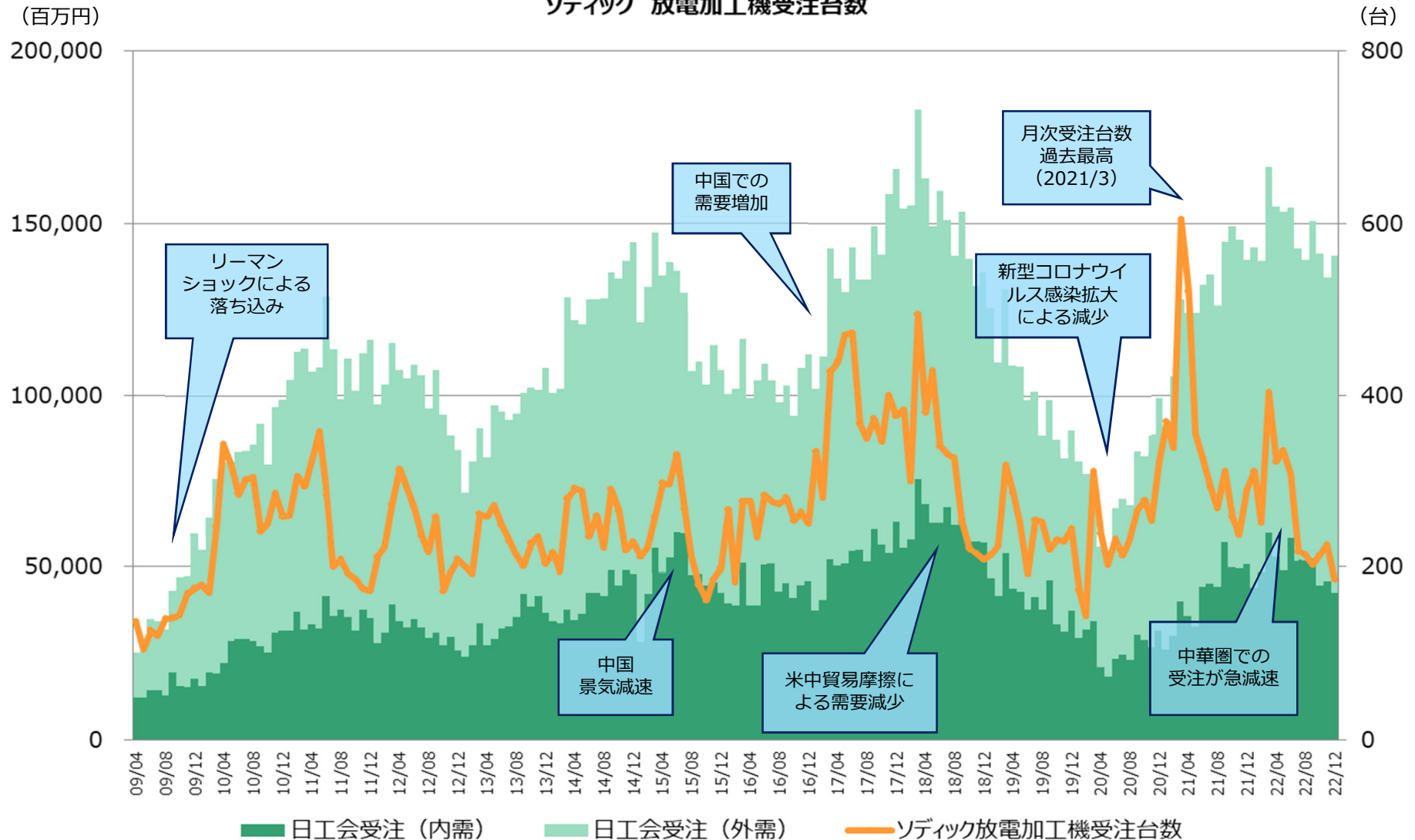




## 2023年12月期見通し

# 日工会受注額 / 当社放電加工機受注台数 推移

日本工作機械工業会 工作機械受注金額・  
ソディック 放電加工機受注台数

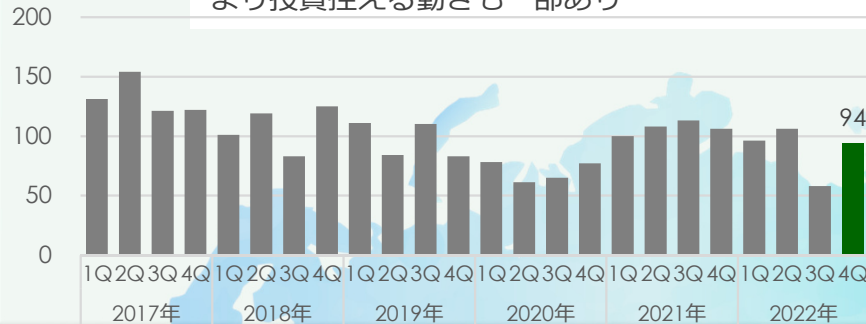




# 放電加工機受注台数 四半期推移 (地域別)

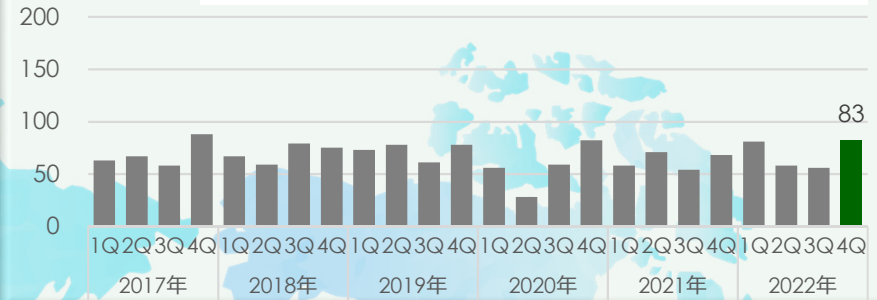
## 欧州

自動車関連は回復傾向。エネルギー価格高騰等により投資控える動きも一部あり



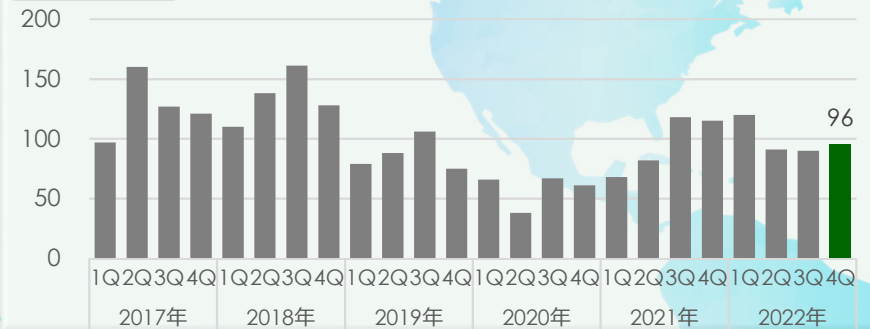
## 北南米

自動車関連はやや停滞継続だが、航空宇宙関連は回復傾向



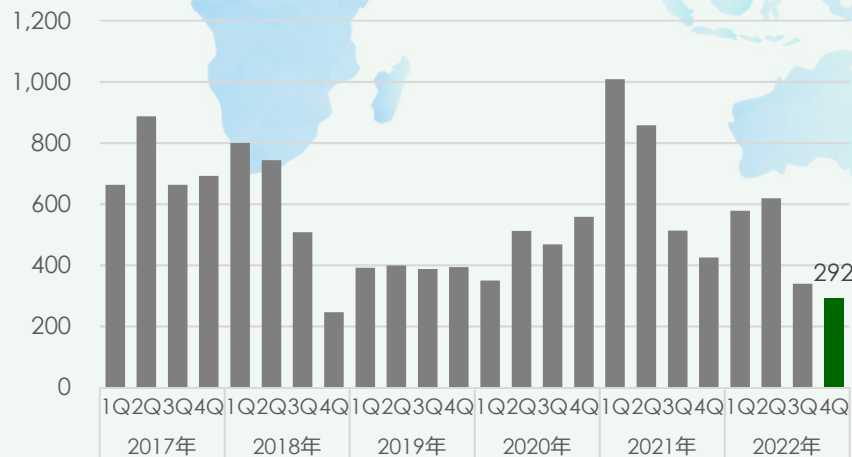
## 日本

半導体関連向け堅調。EV向け需要期待



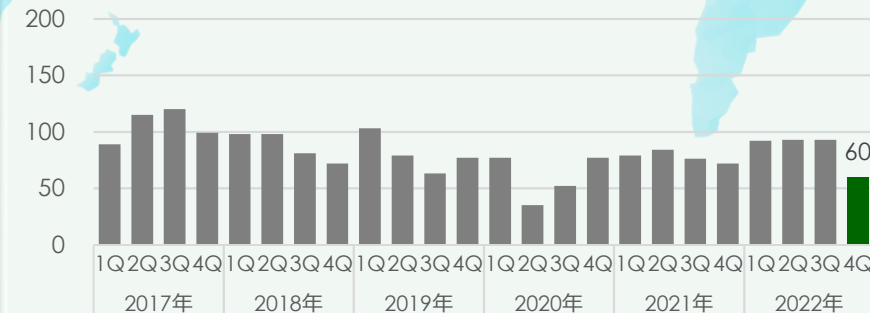
## 中華圏

半導体、EV関連等で需要継続だが、スマホ、電子部品関連需要が停滞



## アジア

地域別に濃淡あるも、回復傾向



## 2023年12月期 通期業績予想

- ✓ 売上高は、産業、食品、その他事業の売上増加し、増収となる予想
  - ✓ 利益面は、原材料高の継続に加え、各種費用の増加により、営業利益減益、営業利益率も5.8%に低下。
- ※人的資本投資（ベア・人員増）:約10億円、旅費:+1.5億、販促費（展示会等）：+2億円

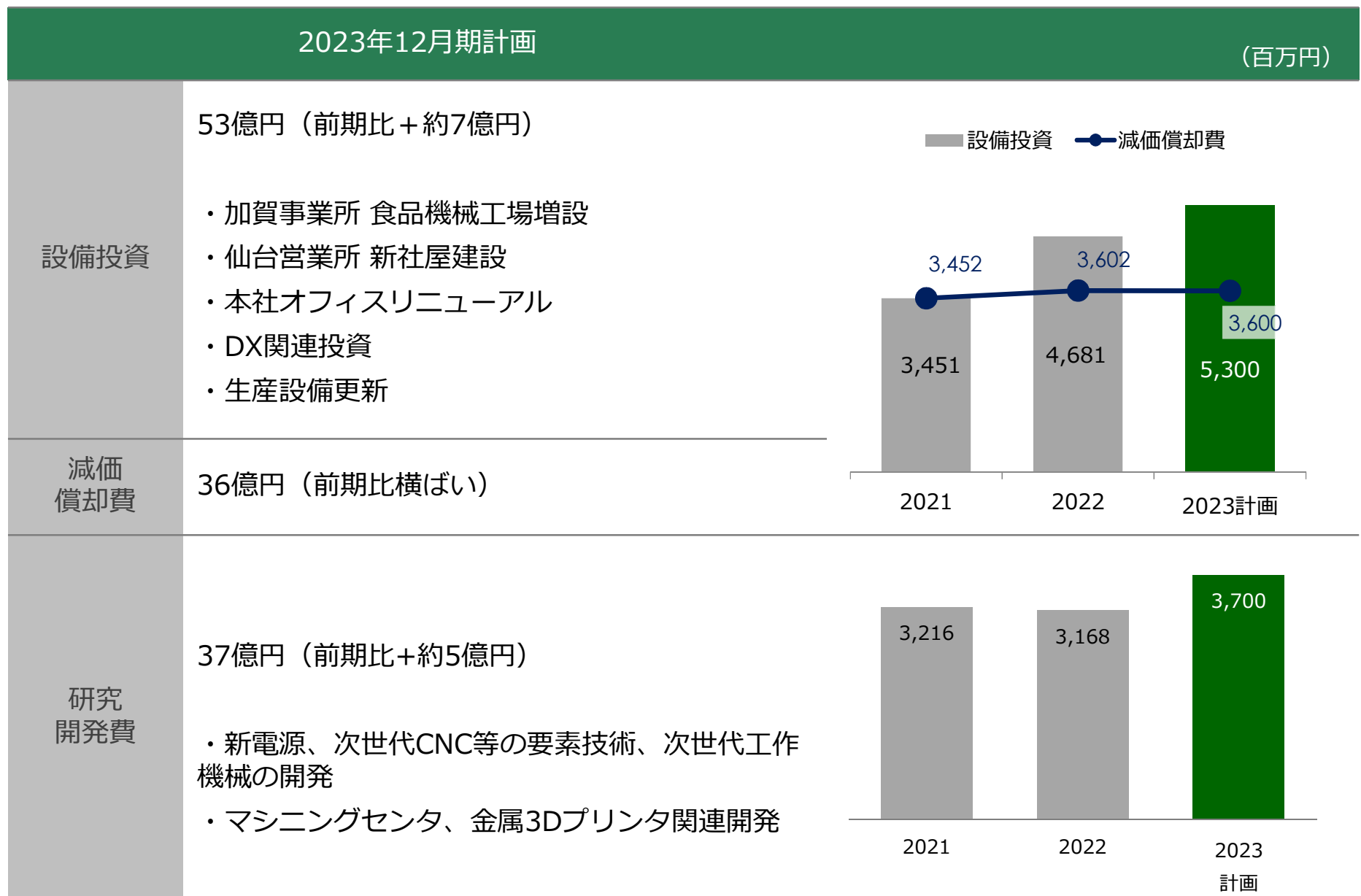
(単位：百万円)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
					計画	増減額	増減率
売上高	67,591	58,030	75,174	80,495	<b>81,700</b>	<b>1,204</b>	1.5%
営業利益	3,422	1,852	6,813	5,813	<b>4,700</b>	<b>△1,113</b>	△19.2%
営業利益率	5.1%	3.2%	9.1%	7.2%	<b>5.8%</b>		△1.5pt
経常利益	3,558	2,046	8,588	8,275	<b>4,700</b>	<b>△3,575</b>	△43.2%
当期利益	2,002	1,346	6,591	6,021	<b>3,200</b>	<b>△2,821</b>	△46.9%
ROE	3.4%	2.3%	10.0%	7.8%	<b>4.0 %</b>		△3.8pt
USD/JPY	109.03	106.76	109.90	131.62	130.00		
EUR/JPY	122.03	121.88	129.91	138.14	144.00		
CNH/JPY	15.77	15.48	17.01	19.45	19.00		
THB/JPY	3.52	3.42	3.44	3.75	3.90		

## 2023年12月期 通期業績予想（セグメント別）

- ✓ 工作：中華圏での放電加工機販売は減少するも、マシニングセンタ、3Dプリンタの販売及びアフター事業拡大の見込み。原材料価格上昇や人件費増加などコスト増が継続し、収益は悪化
- ✓ 産業：日本の自動車・通信関連向け・中華圏での通信関連の増加を見込み、増収見通し。原材料高や、展示会出展に係る費用増加等もあり、セグメント利益率は低下の見込み。
- ✓ 食品：海外市場での米飯装置を中心に販売増加し、売上・利益ともに増加する計画

(単位：百万円)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		増減 率
					計画	額	
工作機械事業	45,797	38,024	51,485	56,492	<b>54,900</b>	△ 1,592	△2.8%
産業機械事業	9,773	10,931	10,367	10,656	<b>11,600</b>	943	8.9%
食品機械事業	6,283	3,585	6,884	6,813	<b>8,100</b>	1,286	18.9%
その他事業	5,737	5,488	6,437	6,533	<b>7,100</b>	566	8.7%
売上高 計	67,591	58,030	75,174	80,495	<b>81,700</b>	1,204	1.5%
工作機械事業	4,621	2,896	7,176	7,046	<b>5,700</b>	△ 1,346	△19.1%
産業機械事業	165	596	503	820	<b>800</b>	△ 20	△2.5%
食品機械事業	625	65	830	447	<b>500</b>	52	11.8%
その他事業	311	319	811	313	<b>700</b>	386	123.5%
セグメント利益 計	5,723	3,878	9,321	8,628	<b>7,700</b>	△ 928	△10.8%
調整額	△ 2,301	△ 2,025	△ 2,507	△ 2,814	△ <b>3,000</b>	△ 185	—
営業利益 合計	3,422	1,852	6,813	5,813	<b>4,700</b>	△ 1,113	△19.2%

# 設備投資／減価償却費／研究開発費 計画





## 中長期的經營戰略

## 当社が目指す姿

**基本理念：ソディックグループは、「創造」「実行」「苦勞・克服」の精神をもとに、お客さまへ最高の価値を提供し、「未来を創る」企業として社会の持続的な発展に貢献します**

### 当社事業を取り巻く事業環境

- ・自動車産業の変革（自動運転・EV・電装化、部品軽量化、新素材採用）
- ・IoT、AI技術の進化（工場のスマート化、自動化、省人化）
- ・通信ネットワークの拡大（5G、ビッグデータ、スマートフォン高機能化）
- ・新興国におけるものづくりの高度化
- ・環境規制の強化（CO2排出量の削減）
- ・省人化、自動化ニーズの高まり

### 目指す姿

自社技術をさらに向上し、新たな製品群への応用開発を進め、ものづくりを通して持続可能な社会に貢献

### 経営基盤の強化

コーポレートガバナンス

働き方改革

組織改革

## お客さまへ 最高の価値を



- ・製品の性能・品質において絶対的優位性を確立
- ・DXを駆使した顧客との繋がりを確立、推進
- ・ソリューションビジネスの創出、推進
- ・アフタービジネスの強化
- ・新しい技術分野の取り込みを通じたものづくりイノベーションの提供

## 人が成長できる 企業へ



- ・健康経営宣言に基づく労働環境の改善と戦略的人事異動による社員一人ひとりの成長機会の創出
- ・ノウハウの形式知化促進による若い世代への技術継承
- ・次世代経営幹部、管理職者ならびに国内外で活躍できる若い人材育成の強化
- ・人的資本投資の強化（待遇の改善、人材採用、人材育成）

## サステナブルな 社会へ



- ・環境管理の強化（環境配慮製品/サービス提供、カーボンニュートラル・TCFD提言への対応）
- ・リスクマネジメントやコンプライアンスの強化
- ・マテリアリティの解決に向けた取り組みの強化
- ・SDGsへの貢献

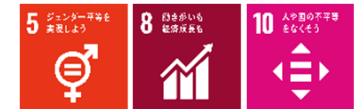
## マテリアリティ（重要課題）



進化する  
ものづくりへの貢献



人材の多様性の促進



環境マネジメント  
への対応



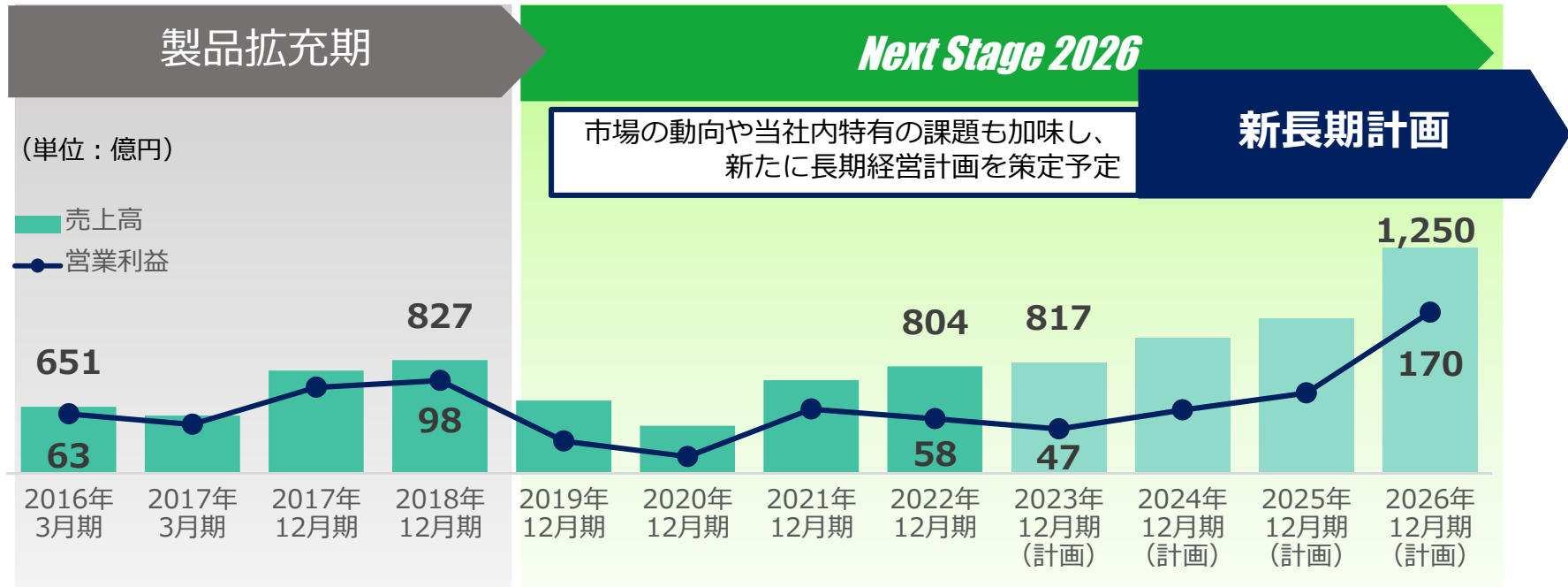
ガバナンスの強化



# 長期経営計画「Next Stage 2026~Toward Further Growth~」



- ・ 設立50周年を迎える2026年をターゲットに長期ビジョンを策定
- ・ 2026年12月期までに、売上高1,250億、営業利益170億を展望



機会	中国製造2025の盛り上がり	<b>ものづくりの進化は継続</b>
	サステナビリティ (ESG、SDGs、カーボンニュートラル等) への関心	
リスク	DX	<b>地政学的リスク</b>
	EVの本格化	
	5G普及	<b>金融リスク</b>
	米中貿易摩擦	<b>サプライチェーンの混乱、再編</b>
	コロナ禍	
	サプライチェーン混乱	
	ウクライナ侵攻	
	インフレ	<b>新たな災害、感染症拡大リスク</b>



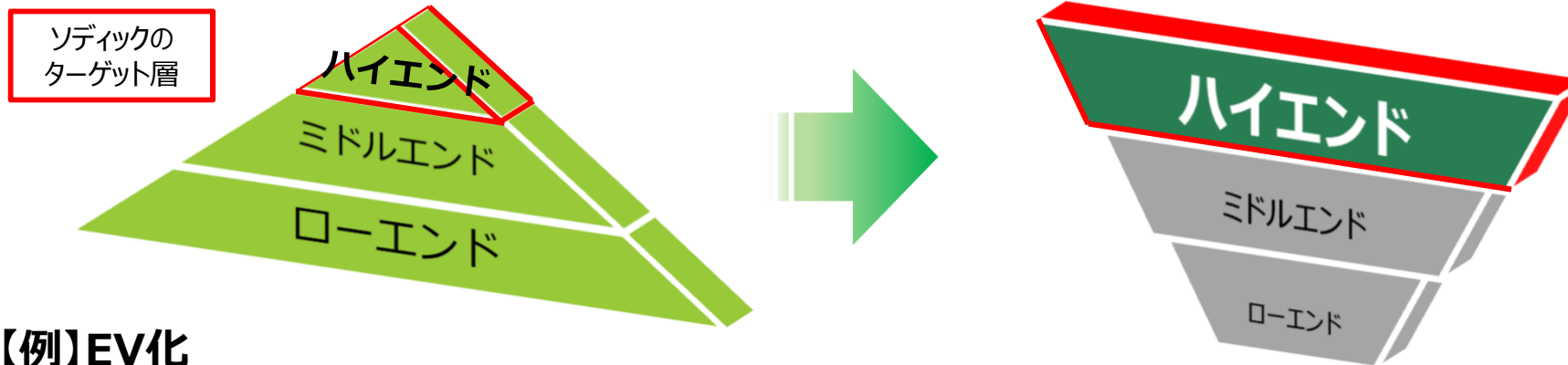
# ものづくりの進化

## ものづくりの高度化により、ハイエンド市場の規模が拡大





【従来のものづくり】

【これからのものづくり】

※イメージ図



### 【例】EV化

	エンジン車	EV (電気自動車)	当社への影響
部品点数	約3万点	約2万点	<b>当社の得意領域とする 精密金型・精密成形が必要</b>
動力ユニット	ガソリンエンジン トランスミッション	モータ インバータ 	
動力源	ガソリン シリンダ	バッテリー 	<b>プラス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モーターのコア材において需要増 (モーターコア用放電加工機：AP350L)</li> <li>・バッテリー製造のセパレータ金型等の需要増</li> <li>・インバータ用の半導体向け設備の需要増</li> <li>・軽量化や静粛性ニーズによる需要増</li> <li>・電気系部品の精密化による需要増</li> </ul>
電気系部品	コネクタ	コネクタ 検知センサー ECU 	
その他	放熱部品	放熱部品 ECUケース 	<b>マイナス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン等、切削加工部品が不要</li> <li>・放電加工機への影響は限定的</li> </ul>

※ECU (Electronic Control Unit : 電子制御するコンピューター)

外部環境

中期経営計画

工作機械

産業機械

食品機械

社会動向の変容

CASE

DX

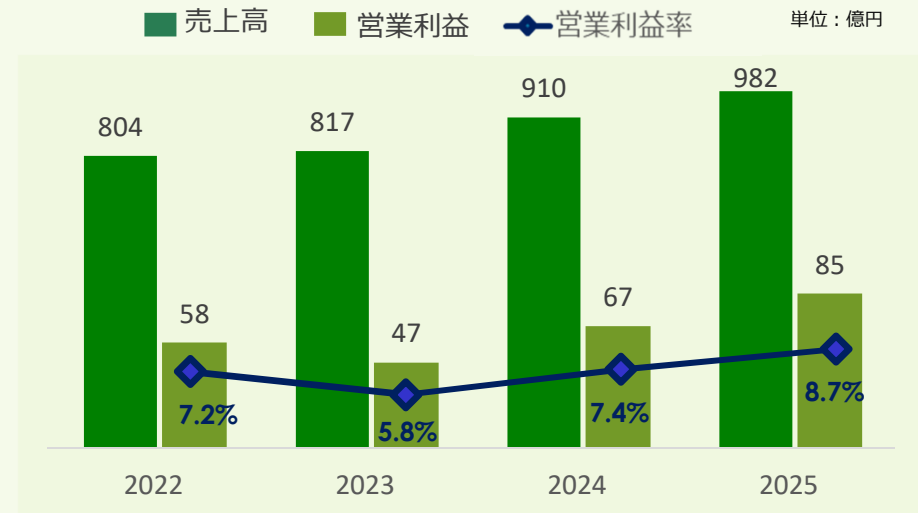
次世代通信

新興国の高度化

GX

SDGs

フードロス



	2022年	2023年	2024年	2025年
売上高	80,495	81,700	91,000	98,200
工作機械	56,492	54,900	58,500	62,300
産業機械	10,656	11,600	12,900	13,900
食品機械	6,813	8,100	10,300	11,200
その他	6,533	7,100	9,300	10,800
営業利益	5,813	4,700	6,700	8,500

# 工作機械事業

機械製造販売から  
トータルソリューションへ



## アフターサービス強化

Sodick  
中国華南テックセンター

2022年7月稼働



## 製品開発

第65回 十大新製品賞  
本賞受賞

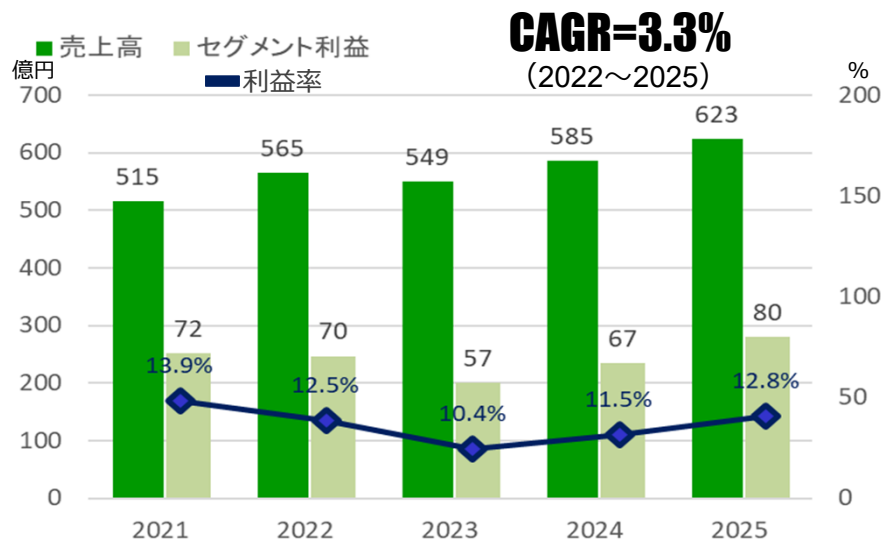
AL600G  
i Groove+ Edition



最速の技術サポート及びアフターサービスを提供し、目覚ましい発展を遂げる華南地区の最先端技術の開発をリードしていく

授与式には2022年11月に就任したCOO(最高執行責任者) 坏 祐次 (写真右) が出席

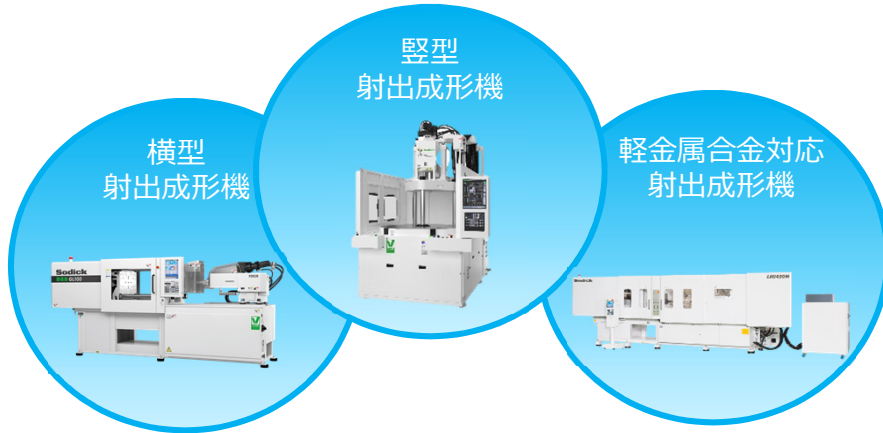
### 工作機械事業の中期事業計画



【今後の取り組み】  
ソリューションビジネスの創出  
アフターサービスの強化  
DX化の推進

# 産業機械事業

ハイエンド市場での  
高精度・高精密な成形分野へ拡販



## 生産キャパの拡張

廈門新工場

2023年1月稼働



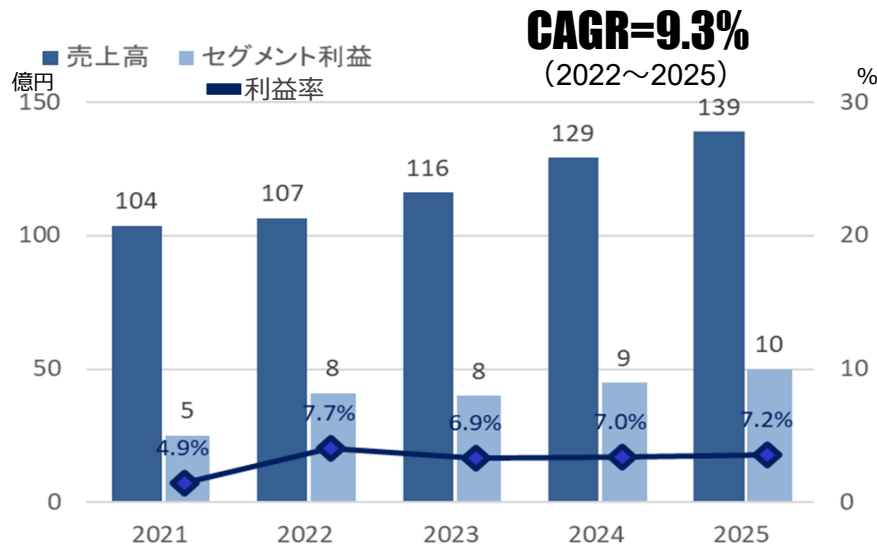
## 製品開発

電動式射出成形機  
モデルを刷新

MS G2 シリーズ



### 産業機械事業の中期事業計画



世界的な市場競争力をさらに強化し、IoT・DXの活用による生産現場全体の最適化、「スマートファクトリー」の実現を推進

独自機構「eV-LINE®システム」による可塑化やサーボモータ駆動方式で、高精度の安定成形が可能となり、新コントローラーや高精度温度調節システムを使用し、制御精度向上と温度制御を実現

【今後の取り組み】  
全電動射出成形機へのシフト  
中華圏・アジアを中心とした需要取り込み

# 食品機械事業

グローバルな総合食品機械メーカーへ  
 麺、米飯、惣菜の三本柱を確立



※当社製品にて生産された食品

## 生産キャパの拡張



廈門新工場

2023年1月稼働

加賀工場の拡張

2023年11月完成予定

## 製品開発

第19回 “超”モノづくり部品大賞

ネオマザール

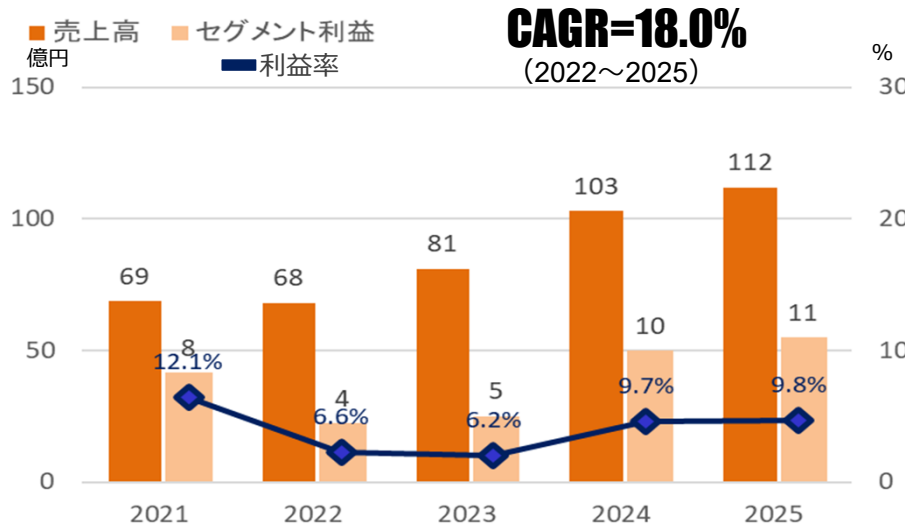


従来手作業で行っていた調理麺製造におけるソースなどの調味液等添加・攪拌工程を無人化することで、雑菌及び異物混入のリスクを低減し鮮度延長によるフードロス削減、省人化によるコスト削減、高度な清掃性実現したことが評価された

### 【今後の取り組み】

中国・アジア市場を中心とした海外市場における  
 製麺機・米飯装置等の需要の取り込み

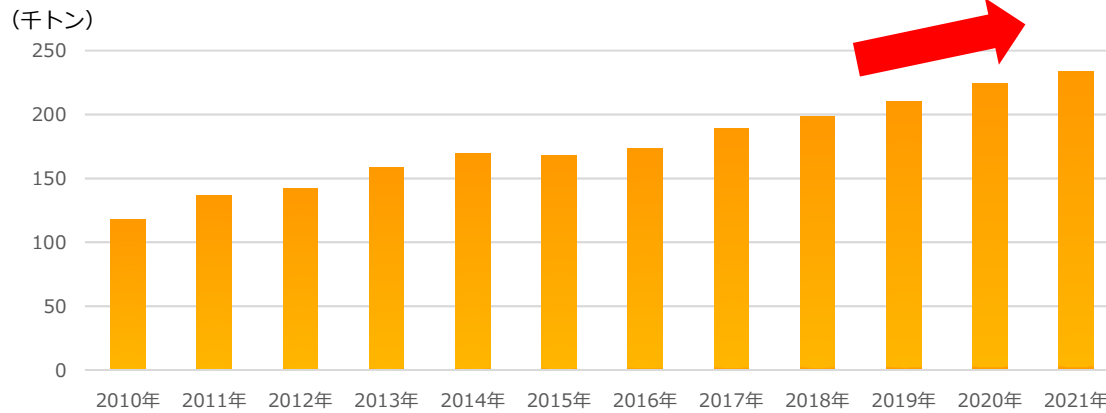
## 食品機械事業の中期事業計画



# 食品機械事業

## 年々高まる包装米飯の需要

年別包装米飯生産量（日本）の推移



出展：農林水産省「食品産業動態調査」

### 日本市場

- ・ 災害時の家庭内備蓄の必要性
- ・ 新型コロナウイルスの流行により無菌包装米飯が注目

### 中華圏・アジア市場 導入期へ

## 米飯装置の潜在的市場規模

### 中華圏 アジア市場

- ・ 日本と同様に米を主食とする中華圏やアジアでも需要が増加し、グローバルに拡大
- ・ 日本の5倍の市場ポテンシャルを見込む

日本の米飯製造装置  
納入台数※1



約**30**ライン



中華圏・アジア市場の  
普及倍率※1

**5**倍




潜在的市場規模





**150**ライン※3

※1 各種資料より当社推定

※3 1ライン：15～20億円程度



# サステナビリティに関する取り組み

分野	2022年12月期の取り組み	2023年12月期の重点テーマ
<p><b>E</b> (環境)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境専門部署の設置</li> <li>TCFD提言への賛同を表明</li> <li>TCFD提言に準拠した気候関連財務情報開示</li> </ul> <p><a href="https://www.sodick.co.jp/sustainability/environment/tcf.html">https://www.sodick.co.jp/sustainability/environment/tcf.html</a></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減の促進</li> <li>Scope3を含めたGHG排出量削減の取り組みを推進</li> </ul>
<p><b>S</b> (社会)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブル調達ガイドラインの制定</li> <li>健康経営の推進</li> <li>給与水準の引き上げ (平均約9%)</li> <li>従業員満足度調査の実施</li> <li>オフィス環境の整備</li> <li>男性の育児休業取得推進</li> <li>障がい者とのインクルージョン</li> <li>外国人採用の強化</li> <li>女性の育休復帰後の時短申請期間の拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康投資管理会計の導入</li> <li>ワークエンゲージメントの向上</li> <li>社内コミュニケーションの活性化</li> <li>育児・介護等の両立支援の制度拡充</li> <li>人材育成の強化</li> <li>地域社会への貢献</li> </ul>
<p><b>G</b> (ガバナンス)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営会議の開催</li> <li>ROIC等資本コストに関する勉強会の実施</li> <li>サクセッションプランの協議</li> <li>多様性の確保に向けた対応方針の策定</li> <li>加賀事業所見学会開催</li> <li>社外役員の意見交換会の開催</li> <li>情報セキュリティ強化</li> <li>コンプライアンスの徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代リーダー育成</li> <li>コンプライアンスの強化</li> </ul>

# 財務方針



項目	資本効率	財務の健全性	株主還元
目標値	ROE 8%以上 (5年平均)	ネットキャッシュプラス 自己資本比率 50%以上	DOE 2%以上 かつ 総還元性向※ <sup>1</sup> 40%以上
実績	<p>ROE (単年) 単位：%</p>	<p>ネットキャッシュ 単位：百万元</p> <p>自己資本比率 単位：%</p>	<p>DOE 単位：%</p> <p>総還元性向 単位：%</p>
2022年 実績	7.0% (5年平均)	ネットキャッシュ3,381百万元 自己資本比率 58.5%	DOE 2.1% 総還元性向 40%※ <sup>2</sup>

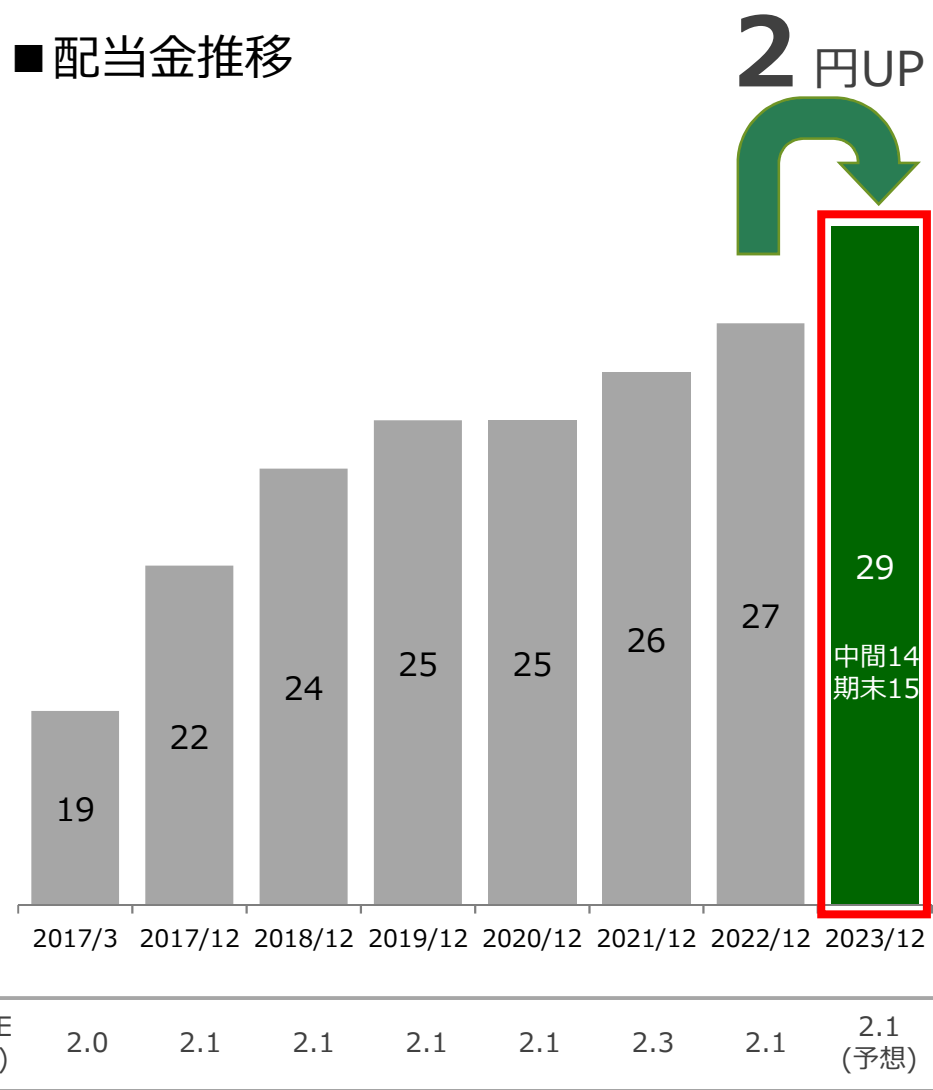
※<sup>1</sup> 当社における総還元性向の計算式：
$$\text{総還元性向} = \frac{(n\text{年度の配当}) + (n+1\text{年度の自己株式取得額})}{n\text{年度の当期純利益}}$$

※<sup>2</sup> 2022年は2022年度の配当金額 + 現在実施中の自己株取得の2023年度見込 (12月末の株価 × 取得見込の株数)



**基本方針**  
 株主資本配当率 (DOE) 2%以上 かつ 総還元性向40%以上

## ■ 配当金推移



	決議内容	進捗(1月末)
取得株式総数	<b>250万株</b> (上限) 発行済株式総数 (自己株式除く) に対する割合 4.7%	<b>141万株</b>
取得価額総額	<b>25億円</b> (上限)	<b>10億円</b>
取得期間	2022年11月14日 ～2023年8月4日 (予定)	
消却	取得する自己株式全数 (2023年8月31日予定)	

DOE (%)	2017/3	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12
	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.1	2.1 (予想)



## 参考資料

- 1.業績の推移
- 2.各指標の推移
- 3.事業別業績の推移
- 4.放電加工機受注台数・販売台数
- 5.事業別海外売上高比率
- 6.保守サービス比率
- 7.事業概要、新製品
- 8.展示会情報

# 業績の推移 (四半期ベース)



2020年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	13,030	69.2%	13,671	98.4%	14,042	82.6%	17,285	96.7%
売上原価	8,957	73.5%	9,313	101.2%	9,615	81.2%	11,894	97.5%
売上原価率	68.7%		68.1%		68.5%		68.8%	
営業利益	-88	-	433	1312.1%	481	77.8%	1,025	151.6%
営業利益率	-0.7%		3.2%		3.4%		5.9%	
経常利益	-67	-	430	-	530	105.4%	1,153	117.5%
経常利益率	-0.5%		3.1%		3.8%		6.7%	
当期純利益	-18	-	124	-	513	180.0%	728	88.3%
当期純利益率	-0.1%		0.9%		3.7%		4.2%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
26,702	81.6%	31,327	89.8%	58,030	85.9%
18,270	85.4%	21,509	89.5%	39,779	87.6%
68.4%		68.7%		68.6%	
345	16.2%	1,507	116.4%	1,852	54.1%
1.3%		4.8%		3.2%	
362	17.5%	1,684	113.4%	2,046	57.5%
1.4%		5.4%		3.5%	
105	11.8%	1,241	111.8%	1,346	67.2%
0.4%		4.0%		2.3%	

2021年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	14,317	109.9%	20,187	147.7%	19,471	138.7%	21,199	122.6%
売上原価	9,665	107.9%	13,167	141.4%	12,571	130.7%	14,058	118.2%
売上原価率	67.5%		65.2%		64.6%		66.3%	
営業利益	424	-	2,289	528.6%	2,235	464.7%	1,863	181.7%
営業利益率	3.0%		11.3%		11.5%		8.8%	
経常利益	1,176	-	2,607	606.3%	2,293	432.6%	2,511	217.8%
経常利益率	8.2%		12.9%		11.8%		11.8%	
当期純利益	871	-	1,776	1432.3%	1,729	337.0%	2,214	304.2%
当期純利益率	6.1%		8.8%		8.9%		10.4%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
34,504	129.2%	40,669	129.8%	75,174	129.5%
22,832	125.0%	26,629	123.8%	49,461	124.3%
66.2%		65.5%		65.8%	
2,714	786.7%	4,098	271.9%	6,813	367.8%
7.9%		10.1%		9.1%	
3,784	1045.3%	4,804	285.3%	8,588	419.6%
11.0%		11.8%		11.4%	
2,648	2521.9%	3,943	317.7%	6,591	489.4%
7.7%		9.7%		8.8%	

2022年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	19,604	136.9%	19,712	97.6%	20,441	105.0%	20,737	97.8%
売上原価	13,050	135.0%	13,126	99.7%	13,865	110.3%	13,629	96.9%
売上原価率	66.6%		66.6%		67.8%		65.7%	
営業利益	1,907	449.0%	1,571	68.6%	1,078	48.3%	1,255	67.4%
営業利益率	9.7%		8.0%		5.3%		6.1%	
経常利益	2,975	252.9%	2,982	114.4%	1,779	77.6%	537	21.4%
経常利益率	15.2%		15.1%		8.7%		2.6%	
当期純利益	2,113	242.6%	2,007	113.0%	1,033	59.8%	867	39.2%
当期純利益率	10.8%		10.2%		5.1%		4.2%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
39,317	113.9%	41,178	101.3%	80,495	107.1%
26,176	114.6%	27,493	103.2%	53,670	108.5%
66.6%		66.8%		66.7%	
3,479	128.2%	2,333	56.9%	5,813	85.3%
8.8%		5.7%		7.2%	
5,958	157.5%	2,317	48.2%	8,275	96.4%
15.2%		5.6%		10.3%	
4,121	155.6%	1,900	48.2%	6,021	91.4%
10.5%		4.6%		7.5%	

## 各指標の推移

### 従業員数の推移

(人)

	17/09	17/12	18/06	18/12	19/06	19/12	20/06	20/12	21/06	21/12	22/06	22/12
単体	690	701	743	755	801	841	869	886	914	924	987	1,087
連結	3,616	3,651	3,714	3,676	3,625	3,579	3,576	3,633	3,670	3,683	3,772	3,746

\*単体には子会社への出向者を含めておりません。

\*単体・連結ともに臨時雇用者は含めておりません。

### 各指標の推移

	19/12	20/12	21/12	22/12
売上債権回収期間(ヶ月)	2.7	3.2	3.3	2.8
棚卸資産回転期間(ヶ月)	4.2	4.4	4.4	5.1
仕入債務回転期間(ヶ月)	1.7	1.7	2.1	1.8
固定資産回転率	1.7	1.5	2.0	1.7
有利子負債回転期間(ヶ月)	6.9	8.6	5.4	4.9
自己資本比率(%)	51.2	49.9	55.2	58.5
時価ベース自己資本比率(%)	40.0	35.7	32.8	26.8
ROE(%)	3.4	2.3	10.0	7.8
ROA(%)	1.7	1.2	5.3	4.4
D/Eレシオ(倍)	0.69	0.74	0.49	0.46
債務償還年数(年)	4.6	6.2	4.4	9.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	28.5	23.1	23.4	11.9

\*売上債権回収期間:売上債権/売上高(月商)

\*棚卸資産回転期間:棚卸資産/売上高(月商)

\*仕入債務回転期間:仕入債務/売上高(月商)

\*固定資産回転率(年換算):売上高/固定資産

\*有利子負債回転期間:有利子負債/売上高

\*時価ベース自己資本比率:

期末株価終値×期末発行株式数(自己株式控除後)

\*ROE(年換算):当期純利益/期首期末平均自己資本

\*ROA(年換算):当期純利益/期首期末平均総資産

\*D/Eレシオ:有利子負債/株主資本

\*債務償還年数:有利子負債/営業キャッシュフロー

\*インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュフロー/利払い

# 事業別業績の推移



2020年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	8,238	61.7%	8,825	87.5%	9,254	83.7%	11,706	103.6%
	営業利益	197	9.0%	744	110.9%	733	104.6%	1,221	115.6%
	営業利益率	2.4%		8.4%		7.9%		10.4%	
産業機械事業	売上高	2,556	110.2%	2,759	145.8%	2,729	90.1%	2,885	114.0%
	営業利益	142	177.5%	134	-	94	42.3%	225	-424.5%
	営業利益率	5.6%		4.9%		3.4%		7.8%	
食品機械事業	売上高	782	44.0%	733	129.0%	707	62.8%	1,362	48.4%
	営業利益	25	7.4%	-19	-	21	27.6%	38	14.9%
	営業利益率	3.2%		-2.6%		3.0%		2.8%	
その他	売上高	1,453	106.1%	1,353	100.5%	1,351	75.9%	1,330	107.3%
	営業利益	60	-	158	222.5%	92	53.5%	7	9.3%
	営業利益率	4.1%		11.7%		6.8%		0.5%	
連結	売上高	13,030	69.2%	13,671	98.4%	14,042	82.6%	17,285	96.7%
	調整額	-513	-	-583	-	-460	-	-467	-
	連結営業利益	-88	-	433	1312.1%	481	77.8%	1,025	151.6%
	営業利益率	-0.7%		3.2%		3.4%		5.9%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
17,063	72.8%	20,961	93.8%	38,024	83.0%
941	32.9%	1,954	111.1%	2,896	62.7%
5.5%	-	9.3%	-	7.6%	-
5,316	126.2%	5,615	101.0%	10,931	111.8%
276	-	320	190.5%	596	361.2%
5.2%	-	5.7%	-	5.5%	-
1,515	64.6%	2,070	52.6%	3,585	57.1%
5	1.7%	60	18.1%	65	10.4%
0.3%	-	2.9%	-	1.8%	-
2,807	103.4%	2,681	88.7%	5,488	95.7%
219	342.2%	100	40.5%	319	102.6%
7.8%	-	3.7%	-	5.8%	-
26,702	81.6%	31,327	89.8%	58,030	85.9%
-1,097	-	-928	-	-2,025	-
345	16.2%	1,507	116.5%	1,852	54.1%
1.3%	-	4.8%	-	3.2%	-

2021年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	10,382	126.0%	13,762	155.9%	13,102	141.6%	14,237	121.6%
	営業利益	898	454.3%	2,258	303.5%	2,104	287.0%	1,915	156.8%
	営業利益率	8.6%		16.4%		16.1%		13.5%	
産業機械事業	売上高	1,893	74.1%	2,734	99.1%	2,300	84.3%	3,438	119.2%
	営業利益	10	7.2%	167	124.6%	96	102.1%	229	101.8%
	営業利益率	0.5%		6.1%		4.2%		6.7%	
食品機械事業	売上高	580	74.2%	1,940	264.7%	2,541	359.4%	1,820	133.6%
	営業利益	-39	-	244	-	360	1714.3%	264	694.7%
	営業利益率	-		12.6%		14.2%		14.5%	
その他	売上高	1,460	100.5%	1,748	129.2%	1,526	113.0%	1,701	127.9%
	営業利益	144	239.0%	282	178.5%	262	284.8%	122	1742.9%
	営業利益率	9.9%		16.1%		17.2%		7.2%	
連結	売上高	14,317	109.9%	20,187	147.7%	19,471	138.7%	21,198	122.6%
	調整額	-588	-	-662	-	-588	-	-668	-
	連結営業利益	424	-	2,289	528.6%	2,235	464.7%	1,862	181.7%
	営業利益率	3.0%		11.3%		11.5%		8.8%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
24,145	141.5%	27,339	130.4%	51,485	135.4%
3,156	335.4%	4,019	205.7%	7,176	247.8%
13.1%	-	14.7%	-	13.9%	-
4,628	87.1%	5,739	102.2%	10,367	94.8%
177	64.1%	325	101.6%	503	84.4%
3.8%	-	5.7%	-	4.9%	-
2,521	166.4%	4,362	210.7%	6,884	192.0%
205	4100.0%	625	1041.7%	830	1276.9%
8.1%	-	14.3%	-	12.1%	-
3,209	114.3%	3,227	120.4%	6,437	117.3%
426	194.5%	384	384.0%	811	254.2%
13.3%	-	11.9%	-	12.6%	-
34,504	129.2%	40,669	129.8%	75,174	129.5%
-1,251	-	-1,256	-	-2,507	-
2,714	786.7%	4,098	271.9%	6,813	367.9%
7.9%	-	10.1%	-	9.1%	-

2022年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	14,096	135.8%	14,149	102.8%	14,318	109.3%	13,928	97.8%
	営業利益	2,143	238.6%	1,795	79.5%	1,568	74.5%	1,539	80.4%
	営業利益率	15.2%		12.7%		11.0%		11.0%	
産業機械事業	売上高	2,625	138.7%	2,618	95.8%	2,871	124.8%	2,540	73.9%
	営業利益	152	1501.7%	391	233.7%	189	195.6%	87	38.0%
	営業利益率	5.8%		14.9%		6.6%		3.4%	
食品機械事業	売上高	1,021	175.9%	1,323	68.2%	1,820	71.6%	2,648	145.5%
	営業利益	-29	-	32	13.2%	90	25.0%	353	133.8%
	営業利益率	-		2.4%		5.0%		13.3%	
その他	売上高	1,861	127.4%	1,621	92.7%	1,431	93.8%	1,619	95.2%
	営業利益	188	130.9%	88	31.3%	86	33.1%	-50	-
	営業利益率	10.1%		5.4%		6.1%		-	
連結	売上高	19,604	136.9%	19,712	97.6%	20,441	105.0%	20,737	97.8%
	調整額	-548	-	-736	-	-855	-	-674	-
	連結営業利益	1,907	449.0%	1,571	68.6%	1,078	48.3%	1,255	67.4%
	営業利益率	9.7%		8.0%		5.3%		6.1%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
28,245	117.0%	28,247	103.3%	56,492	109.7%
3,938	124.8%	3,108	77.3%	7,046	98.2%
13.9%	-	11.0%	-	12.5%	-
5,244	113.3%	5,411	94.3%	10,656	102.8%
544	306.3%	276	84.8%	820	163.0%
10.4%	-	5.1%	-	7.7%	-
2,344	93.0%	4,469	102.4%	6,813	99.0%
3	1.6%	443	71.0%	447	53.9%
0.1%	-	9.9%	-	6.6%	-
3,482	108.5%	3,050	94.5%	6,533	101.5%
277	65.0%	35	9.4%	313	38.6%
8.0%	-	1.1%	-	4.8%	-
39,317	113.9%	41,178	101.3%	80,495	107.1%
-1,284	-	-1,530	-	-2,814	-
3,479	128.2%	2,333	56.9%	5,813	85.3%
8.8%	-	5.7%	-	7.2%	-

# 放電加工機受注台数・販売台数



放電加工機受注台数

(台)

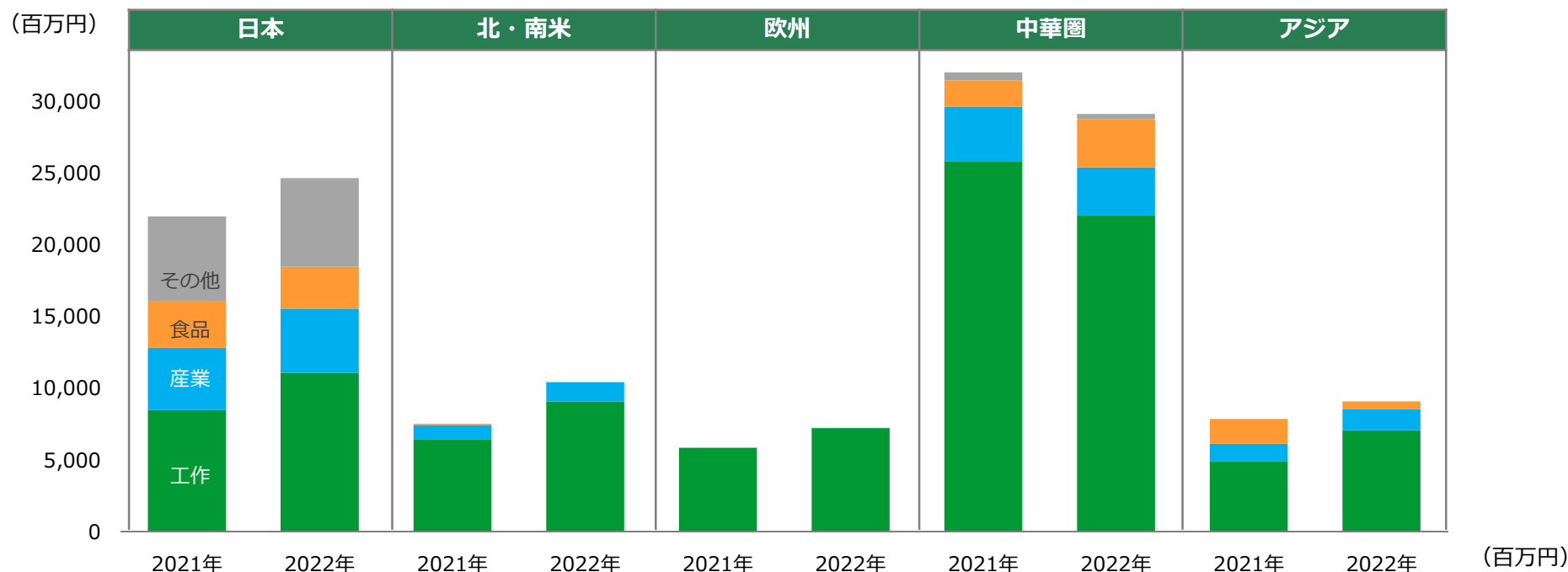
	2020年12月期					2021年12月期					2022年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	56	28	59	82	225	58	70	54	68	250	81	58	56	83	278
欧州	78	61	65	77	281	100	108	113	106	427	96	106	58	94	354
中華圏	350	512	468	558	1,888	1,007	858	513	425	2,803	578	619	340	292	1,829
アジア	77	35	52	77	241	78	84	76	72	310	92	93	93	60	338
日本	66	38	67	61	232	68	82	118	115	383	120	91	90	96	397
合計	627	674	711	855	2,867	1,311	1,202	874	786	4,173	967	967	637	625	3,196

放電加工機販売台数

(台)

	2020年12月期					2021年12月期					2022年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	60	38	54	86	238	52	73	51	81	257	68	58	73	86	285
欧州	67	53	77	82	279	68	82	92	111	353	108	97	80	88	373
中華圏	248	493	447	524	1,712	467	705	711	582	2,465	514	522	418	352	1,806
アジア	60	57	43	66	226	67	71	48	75	261	89	66	110	95	360
日本	82	32	47	90	251	61	48	61	100	270	125	105	79	86	395
合計	517	673	668	848	2,706	715	979	963	949	3,606	904	848	760	707	3,219

# 事業別海外売上高比率



2021年	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,480	16.5%	6,442	12.5%	5,854	11.4%	25,823	50.1%	4,886	9.5%	51,485	68.5%
産業機械	4,345	41.9%	982	9.5%	0	0.0%	3,792	36.6%	1,247	12.0%	10,367	13.8%
食品機械	3,255	47.3%	96	1.4%	0	0.0%	1,814	26.4%	1,717	24.9%	6,884	9.2%
その他	5,879	91.3%	-	-	-	-	558	8.7%	-	-	6,437	8.5%
地域別計	21,959	29.2%	7,521	10.0%	5,854	7.8%	31,987	42.6%	7,850	10.4%	75,174	100.0%

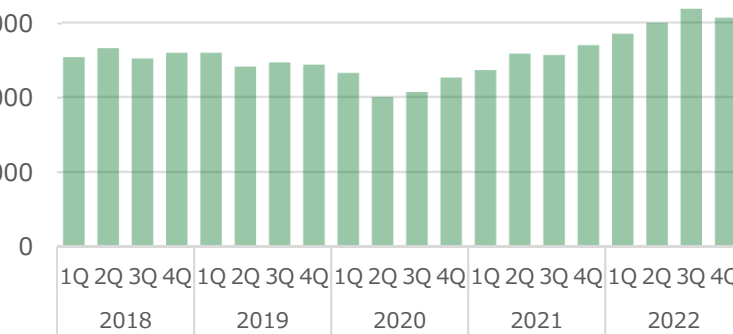
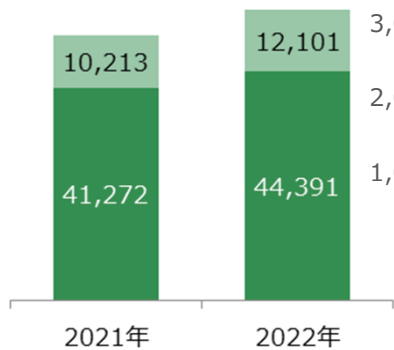
2022年	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	11,101	19.7%	9,071	16.0%	7,225	12.8%	22,068	39.1%	7,025	12.4%	56,492	70.2%
産業機械	4,465	41.9%	1,340	12.6%	21	0.2%	3,313	31.1%	1,515	14.2%	10,656	13.2%
食品機械	2,880	42.3%	22	0.3%	-	-	3,370	49.5%	539	7.9%	6,813	8.5%
その他	6,182	94.6%	-	-	-	-	350	5.4%	-	-	6,533	8.1%
地域別計	24,629	30.6%	10,434	13.0%	7,247	9.0%	29,104	36.1%	9,080	11.3%	80,495	100.0%

為替の影響額                    -                    +約 15 億円                    +約 4 億円                    +約 32 億円                    +約 6 億円                    +約 57 億円

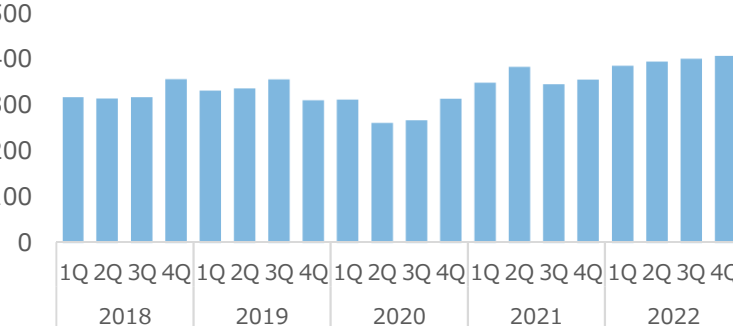
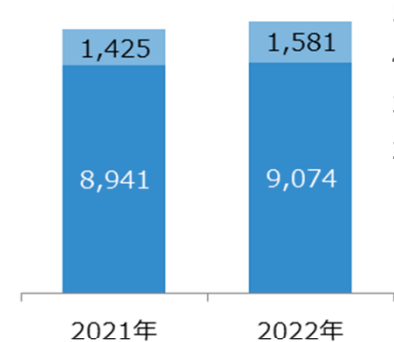
# 保守サービス比率

機械販売/保守サービス・消耗品販売 内訳 保守サービス・消耗品 四半期推移 (百万円)

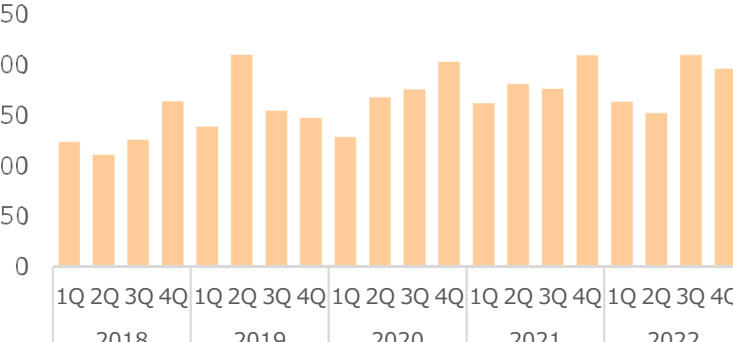
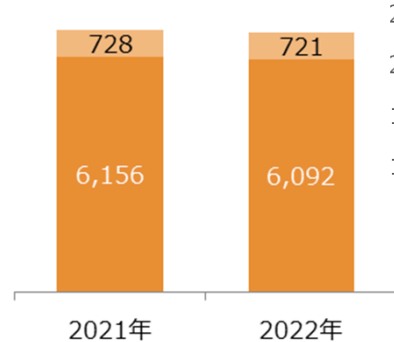
工作機械	2021年		2022年	
保守サービス/ 消耗品	10,213	19.8%	12,101	21.4%
機械販売	41,272	80.2%	44,391	78.6%
合計	51,485		56,492	



産業機械	2021年		2022年	
保守サービス/ 消耗品	1,425	13.8%	1,581	14.8%
機械販売	8,941	86.2%	9,074	85.2%
合計	10,367		10,656	



食品機械	2021年		2022年	
保守サービス/ 消耗品	728	10.6%	721	10.6%
機械販売	6,156	89.4%	6,092	89.4%
合計	6,884		6,813	





# 事業セグメントの構成と主要製品

セグメント	工作機械	産業機械	食品機械
<b>主要製品</b>	<p>【形彫り放電加工機】 【ワイヤ放電加工機】</p>  <p>【細穴加工機】 【金属3Dプリンタ】</p>  <p>【マシニングセンタ】</p> 	<p>【横型射出成形機】</p>  <p>【縦型射出成形機】</p>  <p>【軽金属射出成形機】</p> 	<p>【製麺機（製麺ライン）】</p>  <p>【無菌包装米飯製造装置】</p>  <p>【その他食品加工機】</p> 
<b>販売市場</b>	<p>自動車、家電、電気電子機器、航空宇宙、医療機器、エネルギー等</p>	<p>自動車、電気電子機器、医療機器等</p>	<p>製麺（チルド麺、LL麺、冷凍麺等）、パックご飯、製菓・製パン、総菜、野菜加工 等</p>
<b>生産拠点</b>	 <p>加賀 タイ アモイ 蘇州</p>	 <p>加賀 タイ</p>	 <p>加賀 アモイ</p>

放電加工機

VN400Q  
VN600Q



AX350L



AL i Groove  
+ Edition



ワイヤ放電加工機エントリーモデルを刷新	長時間安定加工・省力化要求に応える超精密ワイヤ放電加工機	放電回路・制御を大幅に改善 加工速度20%UP・加工精度向上
4軸リニアモータ駆動方式により医療・航空産業向けの高精度加工にも対応	抜群の精度安定性と優れた操作性でEV・半導体産業の精密金型加工に対応	「ワイヤ回転機構」採用でワイヤ消費量最大30%削減
電力使用量 従来機種比約20%削減	電力使用量、加工液の省エネ機能搭載	消費電力量20%削減

金属3Dプリンタ

LPM450



金属粉末SVM  
(Sodick Versatile steel for Mold)



試験造形対応ユニット  
Material Trial Unit A/B



大型化サイズの安定造形を実現する金属3Dプリンタ	ダイカスト金型向けの新素材	1台で多種類粉末材料の試験造形対応可能
独自開発の粉末材料により、最大容積で従来機種比約5.8倍の造形が可能	耐熱性素材配合で割れや溶損改善	短時間での材料交換
1台で多品種粉末材料の造形に対応	SRT工法適用により変形や割れを防止、大型部品造形対応可能	少量の材料で試験造形が可能

# 2022年リリース新製品



## マシニングセンタ

UX450L



HP300L



リニアモータ駆動マシニングセンタを刷新	同時 5軸制御マシニングセンタ
高速・高精度・高品位駆動性能を最大限発揮	インテリジェント化、高機能・多機能化が求められる各種デバイスの生産に対応
熱変位補正機能の搭載により安定した品質に貢献	アイドルストップ機能により、省エネにも貢献

## 射出成形機

MS G2 series



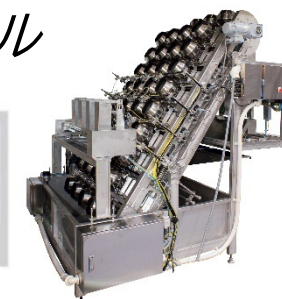
VR G series



電動式射出成形機モデルを刷新	油圧と電動のハイブリッド直圧型縦型ロータリー式成形機
独自のサーボモータ制御技術で安定した高精度成形を実現	新コントローラ搭載で各動作の制御能力が向上
新コントローラ搭載で各動作の制御精度が向上	消費電力22%削減、ハイサイクル化実現

## 食品機械

ネオマザール



一食ごとに調味液等をムラなく自動添加・攪拌し、トレーへ供給
工程の自動化により省人化を実現 製造コスト大幅削減
鮮度延長によりフードロス削減に貢献



## ■ 日本工作機械見本市「JIMTOF 2022」に出展

2020年のオンライン開催を経て、4年ぶりのリアル開催となったJIMTOFへ出展。“「SDGs」「DX」「スピード」を支える技術の提案”をコンセプトに、東・南展示棟の2か所にブースを設け、放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタの最新鋭機を多数出展しました。

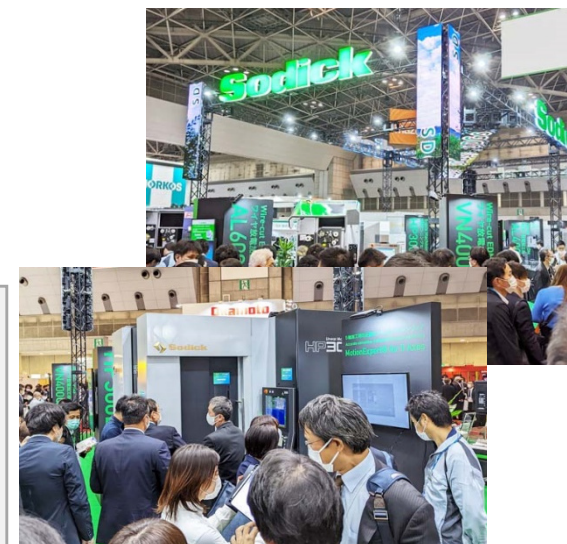
### 【 JIMTOF 2022 概要 】

会 期：2022.11.8～13（6日間）

会 場：東京ビッグサイト

来場者：11万4,158人

出展機：ワイヤ放電加工機「AL600G iG+E」「VN400Q」「AP250L iG+E」「AX350L」  
形彫り放電加工機「AL40G & SR12」、金属3Dプリンタ「LPM325S」「LPM450」  
マシニングセンタ「UX450L」「HP300L」、細穴加工機「K4HL」



## ■ 国際プラスチック・ゴム産業展「K 2022」に出展

初開催から70年目を迎えるK 2022においては「循環型経済（サーキュラーエコノミー）」「気候保護」「デジタル化」をテーマに各企業が展示を行いました。当社は、高付加価値製品向けの射出成形機GL30-LPを展示し、精密・電子・光学・医療機器など広い分野での精密な成形技術をアピールいたしました。

### 【 K 2022 概要 】

会 期：2022.10.19～26（8日間）

会 場：ドイツ・デュッセルドルフ

来場者：17万6,000人

出展機：V-LINE® 高付加価値製品用高応答射出成形機「GL30LP」



## 留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室  
〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835